



第115号  
 発行人  
 (一財) 福井県剣道連盟  
 会長 片山外一  
 事務局  
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18  
 サンライズ二の宮1-B  
 TEL・FAX (0776)28-6616  
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp



### ご挨拶

一般財団法人 福井県剣道連盟

会長 片山外一

新年明けましてお目出とうございませう。会員の皆様にかかれましては清々しい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また日頃は福井県剣道連盟の活動に、ご助言ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症によるパンデミックも早3年が過ぎましたが、残念ながらなかなか収束の気配が見られません。特に我々の福井県に於きましては、当初発生頻度が低かつ

た影響もあつてか、第8波の発生頻度は高く、予測されるインフルエンザの流行とも併せて感染予防対策の再認識と徹底が必要かと思われませう。

また昨年は安倍晋三元総理大臣の事件が起こった上、ウクライナ、ロシア戦争が世界戦争の観を呈しており、物価の高騰とも相俟って世界中の政治、経済が不安定さを増しております。その様な環境下でも我々は剣道競技の維持、発展に努めなくて

はなりません。幸い感染対策もある程度目処が付いてきており、競技ルールの工夫や、環境の整備なども整えられて次第に競技の機会も増えて来ました。

一昨年の全日本剣道選手権大会での林田選手の決勝戦進出は福井県初の快挙でありましたし、昨年も同大会で優秀選手賞を獲得されています。

昨年は、いちご一会とちぎ国体が開催されましたが、成年男子競技で福井が北海道に快勝し、次戦で東京をあわやという所まで追い詰めましたが、もう少しという所で惜敗に終わりました。しかしながら福井国体以来、福井県の選手の力が着実に上がっているのには違い有りませう。

これからの一層の競技の発展を目指し、少年剣道の更なる普及、女性剣士の拡充を旨にホームページの充実が図られております。私も時々覗きに行きますが、美しい動画に始まり、改めて剣道の理念の再認識から、お

知らせ、行事欄と続いた上で、何よりも道場検索欄がユニークであり、楽しく拝見しております。見知った先生方や稽古の環境も映像で良く判りますので、皆様の一層の書き入れご協力を改めてお願いする次第です。

今年先は先の読めない時代のスタートとなりましたが、明るい年となりますよう剣道精神をバツクポーンに一同頑張つて参りたいと存じます。関係各位の更なるご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



# 全国大会 本県勢の活躍!

## 第69回全国高等学校剣道大会

令和4年8月5日(金)

8日(月)

於 高知県立春野総合運動公園

体育館

### 女子個人

### 青池選手(敦賀高)が ベスト8入賞、本県勢初!

日本高等学校体育連盟主催の「第69回全国高等学校剣道大会」が8月5日(金)8日(月)、高知県高知市の高知県立春野総合運動公園体育館で開催され、本県からは男子団体で福井工業大学付属福井高校が6年振り、女子団体では敦賀高校が6年連続11度目、個人戦男子は安原響希選手(丸岡高)、高橋啓太選手(敦賀高)、女子は青池玖瑠美選手(敦賀高)、重永花歩選手(丸岡高)がそれぞれ出場しました。女子個人戦では青池選手が本県勢初となるベスト8に入賞を果たしました。結果は次の通りです。

#### 【男子個人】

▽1回戦

高橋啓太(敦賀高) メーメ、メ

近藤拓己(京都・東山高)



高橋啓太選手(敦賀高)



安原響希選手(丸岡高)

▽2回戦

安原響希(丸岡高) メー

川田楓音(高知・高知高)

▽3回戦

安原 コ

徳佐屋樹(岐阜・中京高)

#### 【女子個人】

▽1回戦

重永花歩(丸岡高) メー

福島紫奈乃(島根・大社高)

青池玖瑠美(敦賀高) コー

小松 桜(高知・岡豊高)

▽2回戦

重永 メー 亀野梨音

(埼玉・星野高)

青池 コー 前川 葵

(兵庫・東洋大姫路高)

▽3回戦

青池 メー 野崎 栞

(北海道・東海大札幌高)

▽4回戦

青池 メー 松山若樹

(熊本・八代白百合学園高)

▽準々決勝

青池 メー 鹿毛睦心

(岡山・岡山商大付高)

※青池はベスト8



青池玖瑠美選手(敦賀高)の試合



重永花歩選手(丸岡高)

#### 【女子団体】

▽予選リーグ レブロック

1位 2勝 高松商高(香川)

2位 1勝1敗 今治精華高(愛媛)

3位 2敗 敦賀高

敦賀高 1-1 (本数勝ち)

今治精華高(愛媛)

青池 引き分け 片山

杉本 引き分け 藤本

江戸 コー 馬越

岸本 コー、メ 村上

松本 引き分け 高橋

敦賀高 1-2 高松商(香川)

青池 引き分け 森嶋

杉本 メー 坂口

江戸 メー 赤沢晶

岸本 コー 楠瀬

松本 引き分け 赤沢穂

※敦賀高は予選リーグ3位

【男子団体】

▽予選リーグ Mブロック

- 1位 2勝 玉島高(岡山)
- 2位 1勝1敗 仙台育英高(宮城)
- 3位 2敗 福井工大福井高

福井工大福井高 1-1(本数勝ち)

- 山下 一メ、メ 片山
- 坂元 メー 前川
- 本島 引き分け 平野
- 中川 引き分け 奥田
- 玉置 引き分け 赤星

福井工大福井高 0-3

仙台育英高(宮城)

- 山下 一メ 木川
- 坂元 引き分け 小笹
- 本島 一メ 長南
- 中川 一コ、メ 栗原
- 玉置 引き分け 伊深



女子団体出場の敦賀高校

【所感】

福井工業大学附属福井高校剣道部

顧問 飯田 浩史

はじめに、コロナ禍で感染者が急増する中、今大会を通じて貴重な経験ができたことを、福井県剣道関係者、および大会関係者の方々に心より感謝致します。

課題であった初戦、仙台育英の勢いに圧倒され、私たち福井工大福井の持ち味である攻撃的な戦いが展開できませんでした。ひとえに、そのことが敗因だと考えます。しかし玉島戦では、一進一退の攻防で、お互いに引かず実力均衡の試合ができたことで、私たちには全国で通用する実力が備わっていると実感し自信につながりました。

今後、インターハイでの経験を糧



男子団体出場の福井工大福井高

に更なる躍進を目指し、日々の稽古に取り組んでいきます。

福井工業大学附属福井高校剣道部

主将 本島 大成

私たちはこれまでインターハイ出場、そして優勝を目標に日々の稽古を積み重ねてきましたが、その舞台は余りにも一瞬でした。

このチームとなった時から課題としていた初戦では、初の大舞台で戦うという緊張感も高まって思うように体を動かせず、力を発揮しきることができませんでした。

2戦目の玉島戦では少し緊張もほぐれ本来の動きに近づいたように感じましたが、やはり全国の壁は厚く、僅差で敗れました。予選リーグ敗退が決まった時の悔しさは言葉で表せるものではありませんでした。

しかしながら、この目で全国のハイレベルの戦いを見て、体で感じたことは私たちの大きな力になりました。この経験を糧に、今後さらなる高みを目指し、今まで以上に日々の鍛錬を重ね、来年もこの舞台に立ち、次は笑って終われるようにしたいと思います。

敦賀高校剣道部

顧問 大西 ななみ

女子個人戦では、青池が持ち前の

粘り強さを充分に発揮し、福井県女子としては初のベスト8という快挙を成し遂げることができました。男子個人では、高橋が初戦敗退とはなりましたが、1本先行されるも取り返し、県代表としての意地を見せました。女子団体では、今治精華高に先行するものの逆転され、敗退。続く高松商業戦も2-1で敗退しました。今大会は、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合審判法が定着しつつあるなかで、そのルールをどう活かすかがポイントとなる大会でした。今回の負けを必ず活かして、精進していきたいと思えます。応援ありがとうございました。これからもご指導・ご鞭撻の程よろしくお願ひします。

敦賀高校剣道部

主将 青池 玖瑠美

【個人戦】個人戦では、自分の粘り強い部分を活かし、延長に持ち込んで自分が勝負できるところで勝負しました。何本か相手にさわれることもあり、どうなるかわからない試合ばかりでしたが、最後には自分が打ち切ることができました。長期戦ばかりで辛くなる時もありましたが、日々の稽古で頑張ってきたことを思い出し、最後までやりきれました。準々決勝で負けてしまい悔いは

残っています。自分も十分に打つていたので、自分らしく戦えた試合だと思えます。

【団体戦】予選リーグ敗退という結果となり、チームで1本をとりきることや守り抜くことができませんでした。今年は会場での観覧が可能になり、会場でもインハイTVでも多くの方々から応援していただきました。特に初戦が相手とかみ合わない試合で、1本取りたいのに取れず、惜しいところを1本にしきることができなかったり、逆に相手の圧に負けて守りきれなかったりした1本がありました。

悔しい結果になってしまいました。が、リーグの2試合どちらとも最後の最後まで全員が諦めず戦うことができました。

### 第64回全国教職員剣道大会

令和4年8月11日(木・祝)  
於 ホワイトリング長野市真島  
総合スポーツアリーナ

### 女子個人

### 大西選手3年ぶり 2度目の優勝!

「第64回全国教職員剣道大会」が長野県長野市のホワイトリング長野市真島総合スポーツアリーナで開催

され、本県からは団体戦と、男子個人の部で林田匡平選手(丸岡高校教員)、女子個人の部で大西ななみ選手(敦賀高校教員)が出場。大西選手が3年振り2度目の優勝を果たしました。男子個人の林田選手はベスト16、団体戦は1回戦で一昨年、昨年と開催予定で準備・強化を進めて来た岩手県と対戦、1対2で敗れました。

2020年、2021年の同大会は中止、大西選手は2019年の第61回同大会(鹿児島県で開催)の優勝に続く連覇で、優秀選手賞も受賞しました。

試合結果は次の通りです。

#### 【団体戦】

- ▽1回戦
  - 福井県 先鋒 林田 メー 岩手県 渡邊
  - 次鋒 梅田 ーメ、コ 菅野
  - 中堅 三井 ーメ、メ 古館
  - 副将 和田 引き分け 菅崎
  - 大将 小辻 コーメ 遠藤

#### 【男子個人戦】

- ▽1回戦
  - 林田匡平 メー 阿部(山形)
- ▽2回戦
  - 林田 メ、メー 出崎(岐阜)

#### ▽3回戦

- 林田 ーメ 白鳥(千葉)



#### 【女子個人戦】

- ▽2回戦
  - 大西ななみ コー 坂本(香川)
- ▽3回戦
  - 大西 メー 渡邊(沖縄)
- ▽準々決勝
  - 大西 メー 鈴木(千葉)
- ▽準決勝
  - 大西 メー 小松(青森)
- ▽決勝
  - 大西 メー 鈴木(栃木)



大西選手

大西選手の試合

### 第52回全国中学剣道大会

令和4年8月19日(金) ~ 21日(日)

於 ウィンドヒルくしろ  
スーパリアルーナ

### 男子個人

### 下選手(丸岡中)が 5位入賞、本県勢初!

8月19日(金) ~ 21日(日)、「咲かせよう君の花 北の大地とみちのくで」の大会テーマのもと、「第52回全国中学校剣道大会」が北海道釧路市のウィンドヒルくしろスーパリアルーナで開催されました。団体戦に鯖江中学校の男女剣道部、男子個人戦に堀登真選手(鯖江中)と下寛人選手(丸岡中)、女子個人戦に伊藤光希選手(鯖江中)と山下心優選手(鯖江中)が福井県代表として出



場しました。下選手は全中大会男子個人戦の福井県勢最高成績となる第5位(ベスト8)に輝き、福井県中体連の新たな歴史の1ページを切り拓いてくれました。  
結果は次の通りです。

【団体戦】

男子

▽2回戦

鯖江中

九州学院中  
(熊本県)

岸本心	―メ	石橋
岸本掌	―メ	田村
田中	―コ	安方
荒井	引き分け	米田
堀	引き分け	中村



鯖江中学校男子

女子

▽1回戦

鯖江中

杵築中  
(大分県)

吉田	引き分け	鈴木
窪田	引き分け	秦
山下	―メ、メ	時村
藤田	―ド	矢野
伊藤	引き分け	福園



鯖江中学校女子

【個人戦】

男子

▽1回戦

堀登 真(鯖江中) ―コ

橋本十座(山口県 熊毛中)

下 寛人(丸岡中) メ、コ―メ

押渕 碧(長崎県 長崎南山中)

▽2回戦

下 メ、コ― 中堂希璃人

(京都府 久御山中)

▽3回戦

下 コ― 田中志武

(香川県 龍雲中)

▽4回戦

下 メ― 安方晴真

(熊本県 九州学院中)

▽準々決勝

下 ―メ 片山倅之介

(愛媛県 重信中)

※下選手はベスト8



下選手

女子

▽1回戦

伊藤光希(鯖江中) ―コ、メ

柳 瑠里(埼玉県 北本中)

▽2回戦

山下心優(鯖江中) ―メ

佐藤凜和(三重県 陵成中)

観戦記

鯖江中学校剣道部

顧問 澤田 泰治

コロナ禍の中で開催された本大会は、1日目に女子団体戦、2日目に男子団体戦、3日目に個人戦と部門別に試合日を分けて開催されました。

女子団体戦では、鯖江中学校が優勝候補筆頭との呼び声高い大分県代表の杵築中学校と対戦しました。先鋒の吉田選手は剣道を始めて1年3か月での全中大会となりましたが、鈴木選手相手に一步も引かない粘りの剣道で相手の技を封じ、引き分けとなりました。次鋒の窪田選手も吉田選手からのバトンを受け取り、足を止めずに粘り強く戦い引き分けとなりました。中堅でチームのエースである山下選手は強気に勝負を挑みましたが、相手の気迫と技の勢いが上回り、メンを2本とられて負けました。副将の藤田選手も中学から剣道を始めた2年生です。大将の伊藤選手に絶対に繋ぐぞ、という気迫のこもった試合運びで、捨てきって打ったメンが何本も相手の面に当たりますが旗は上がらず、最後は面返しドウを取られ1本負けとなりました。大将でキャプテンの伊藤選手はチームメイト全員の思いを受け取り、九州大会個人チャンピオンの福園選手に果敢に立ち向かいます。中盤に放ったコテは、相手の手元が上がったところを捉えた素晴らしい技でしたが惜しくも旗は上がらず引き分けとなりました。

男子団体戦では、鯖江中学校が全中大会4連覇中の熊本県代表の九州学院中学校と対戦しました。先鋒の

岸本心選手は粘り強く戦いますが、終了間際に相手が放った下を攻めてからのメンに一瞬反応が遅れ、1本負けとなりました。次鋒の岸本掌選手は、とても落ち着いた試合運びでしたが、中盤に打ったコテに対して田村選手が返しメンを打ちました。竹刀は面に当たらずに面布団に落ちたように見えました。旗がパラパラと2本上がり、悔しい1本負けとなりました。中堅の田中選手は九州学院中のエース安方選手と互角の戦いを繰り広げます。思いつ切り打ち切った右メンが相手を握えましたが旗は上がらず、その後田中選手が相手の攻めに対して、一歩引いてから打ったメンに対してコテを決められ1本負けとなりました。副将の荒井選手は米田選手に対して構えが全く崩れない剣道を見せてくれました。相手のコテが何度も空を切りました。スピードに対して剣道で勝負をする姿に感動しました。大将の堀選手は、攻め合い、技の精度ともに互角以上の試合を見せました。中盤に放った出ばなコテは打突の機会も完璧だったように見えたが、惜しくも旗は上がりず引き分けとなりました。団体戦では、女子が杵築中学校、男子が九州学院中学校の優勝となりました。男女ともに全国優勝チームと対戦することができ、自分たちに足

りないものを発見するよい機会になったとともに、自分たちが目指してきた剣道をやりきることができれば、全国大会でも戦うことができることも実感しました。試合後に選手たちが流した悔し涙を見て、今大会に向けて本気で戦う努力をしてきたことが感じられました。全国大会出場ではなく、全国大会で勝ち抜くことが目標にして日々の稽古に取り組みることができれば、必ず全国大会で勝負できる選手やチームになると思います。今回の経験を生かして取り組みをさらに改善し、来年はさらに強い選手、強いチームとなって戻ってきたいと思います。

個人戦では、丸岡中学校の下選手が男子個人の部福岡県勢初のベスト8に進出し、第5位入賞となりました。1回戦から強豪選手との対戦の連続でした。全中3位の長崎南山中学校の大将の押淵選手には、メンを取られた直後にメンを取り返し、最後はコテを奪って逆転での2回戦進出となりました。久御山中中学校の中学堂選手には試合開始直後にメンを取り、立て続けにコテを奪っての圧巻の勝利でした。3回戦は、道場連盟の全国大会優勝チームの大将を務めた龍雲中学校の田中選手との対戦になりました。給水タイムを挟むほどの長期戦になりましたが、集中を一

切切らすことなく粘り強く戦い、最後は相手の出ばなコテを放ち勝利しました。ベスト8進出をかけたの試合は九州学院中学校の安方選手との対戦になりました。試合は安方選手への攻めにも全く崩れず、終始下選手のパースで進みました。中盤、下選手が攻め入ったところに安方選手が得意のコテを狙いましたが、下選手は一瞬ためを作り上からメンに乗りました。この技が観客がどよめく程の素晴らしい1本となり、ベスト8進出となりました。準々決勝では、重信中学校の片山選手との対戦になりました。今までの相手とは攻めのタイミングが異なり、下選手の方が少し戸惑っているような印象を受けました。その状況の中で下選手が放ったコテに対して、片山選手がさばいてすり上げメンを放ち、これが1本となり、ここで下選手の挑戦が終了しました。しかし全国の強豪相手にも、全く崩れない剣道で対抗していました。前後の攻めのバランスが絶妙で、その攻め合いの中で相手を引き出している出ばな技が冴え渡りました。会場内の至る所で、下選手の試合の話が聞こえてくるほど印象的な試合の連続で、試合の度に鳥肌が立つほどの感動を覚えました。福井県の中学生も全国で戦えるんだ、という勇気を与えてくれた試合でした。

全国大会出場に際しまして、保護者の方々の温かいサポートや様々な先生方のご指導に心より感謝申し上げます。ご協力下さいました全ての方々、応援して下さいました方々、本当にありがとうございました。

### 第61回全日本女子剣道選手権大会

令和4年9月4日(日)

於 ジェイテクトアリーナ奈良  
全剣連主催の「第61回全日本女子剣道選手権大会」が9月4日(日)、奈良県橿原市のジェイテクトアリーナ奈良で行われました。本県代表の大西ななみ選手(敦賀高校教員)は1回戦で宮城県代表の岸野真知選手と対戦、延長でメンを決め勝ち上がりました。2回戦は強豪の和歌山県代表の末永真理選手と対戦、延長4回の末、コテを取られて敗退しました。優勝は末永選手でした。結果は次の通りです。

▽1回戦 大西ななみ(福井) メー

岸野真知(宮城)

▽2回戦

大西 ーコ 末永真理(和歌山)

### 第17回全日本都道府県対抗 少年剣道優勝大会

令和 4 年 9 月 18 日 (日)  
於 おおきにアリーナ舞洲

### 小学生の部で 予選リーグ1位 決勝トーナメント進出 (ベスト16)!

大阪府剣道連盟主管の「第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」が9月18日(日)、大阪市のおおきにアリーナ舞洲で開催されました。

#### 【小学生の部】

7月18日(日)に開催した「代表最終選考会」で代表を獲得した熊谷薩馬選手(福井養正館)、田中颯馬選手(福井今立道場)、岩谷賀生選手(福井養正館)、安達丈留選手(木田剣道スポーツ少年団)、縄間太智選手(敦賀市剣道スポーツ少年団)の5人が本県代表チームとして出場しました。予選リーグは山口県、岩手県と対戦し、山口県とは2対0、岩手県とは1対0で勝利し、予選リーグ1位で決勝トーナメントへ進出しました。決勝トーナメント1回戦は京都府と対戦、2対3で敗れベスト16という結果でした。

#### ■予選リーグ

福井県	安達	引き分け	山口県	明石(梨)
	岩谷	コ―		明石(悠)
	熊谷	引き分け		曲谷
	田中	引き分け		河村
	縄間	コ、コ―メ		福江
福井県	福井県		岩手県	
	安達	引き分け	井橋	
	岩谷	引き分け	青柳	
	熊谷	引き分け	岩館	
	田中	メ―コ	千葉	
	縄間	メ、メ―	加賀	

#### ■決勝トーナメント

福井県	安達	―コ	京都府	川崎
	岩谷	メ―		川北
	熊谷	―メ		武地
	田中	―メ、メ		山下
	縄間	メ―		砂田

#### ■観戦記

少年委員会委員長 塚田 直人  
開会式直後の第1試合目、初戦は山口県との対戦。緊張感から本来の剣道が出せないながらも、次鋒の岩谷選手がコテを奪い勝利。中堅、副将と勝機はありましたが決めきれず



出場した小学生の選手

大将戦へ。縄間選手は開始早々、メンを奪われましたが、必死に取返しコテを2本決め勝利しました。

続く2試合目もなかなか本来の試合が出来ない中、副将戦へ。田中選手はメンを先取しましたが、後半にコテを奪われ大将戦へ。初戦で勝っている縄間選手は大きな体を活かしたメンを2本奪い、この試合も勝利し予選リーグ突破を決めました。

決勝トーナメント。先鋒の安達選手は気合十分。開始早々、攻めの剣道で主導権を握るもコテを奪われ1本負け。次鋒の岩谷選手、前半は押されていたものの、そこをしのぎ後半会心のメんで1本勝ち。中堅の熊谷選手は互角の展開で終盤へ。しながら攻めに入り打ちに行ったところで止まってしまいメンを奪われ1本負け。副将の田中選手はメンを

2本奪われ敗退が決定しました。それでもこの日好調の大将の縄間選手が意地の勝利で大会を終えました。負けはしましたが、選手たちはこの試合が気持ちも入っており一番良い内容だったと思います。

合宿が中止となり、また十分な稽古が出来ない中、選手たちは可能な限り努力し成長してくれました。また補欠の佐々木海緒選手(福井今立道場)を含めとても仲が良く、チームで戦うことが出来ました。目標をベスト8以上としていたため、選手たちは「悔しい。中学生でもこの大会に出場し目標を達成する」と誓いました。

#### 【中学生の部】

中体連主催の強化練成会や各種大会、最終選考会などを経て代表権を獲得した7名の選手が福井県選抜チームとして本大会に出場しました。

- 先鋒 山下心優選手(鯖江中学校)
  - 次鋒 伊藤光希選手(鯖江中学校)
  - 中堅 和田憲知選手(武生第一中学校)
  - 副将 堀登真選手(鯖江中学校)
  - 大将 下寛人選手(丸岡中学校)
  - 補員 元井颯汰選手(松陵中学校)
  - 補員 西山倫代選手(中央中学校)
- 予選リーグでは青森県、高知県と対戦し、青森県に2対2で引き分け、高知県には2対2の本数負けとなり、

1分1敗(リーグ2位)で惜しくも予選リーグを突破することはできませんでした。

■予選リーグ

福井県	青森県	
山下	コー	松名瀬
伊藤	コー	工藤
和田	ーコ	成田
堀	引き分け	渡部
下	ーメ	菊池
福井県	高知県	
山下	引き分け	楠岡
伊藤	ーメ、メ	西尾
和田	ーメ	水谷
堀	ーメ	村田
下	ーメ	岩城
※予選リーグ1分1敗	2位	(予選リーグ敗退)



出場した中学生選手

観戦記

監督 澤田 泰治

全中大会が終わってからの1ヶ月間、「ベスト8」を目標に、週1回の強化練習会や敦賀高校や丸岡高校の先輩たちとの練習試合、三重遠征や石川遠征など8回の強化練習や遠征を積み重ねてきました。選手の日々の努力はもちろんですが、保護者の方の温かいサポート、所属道場や高校の先生方や先輩たち、中学生委員会の先生方のご指導のおかげで、練習の度に選手の心と技の成長が見られ、全国でも勝負できるという手ごたえを感じながら本大会に挑みま

した。青森県との試合では、先鋒の山下選手と次鋒の伊藤選手が積極的に攻めてそれぞれコテを奪い1本勝ちとなりました。中堅の和田選手は終始技を出し続けましたが、引き分けを意識した終盤、手元が上がったところにコテを打たれました。副将の堀選手は落ち着いた試合運びで引き分けて大将の下選手につなぎました。下選手も相手の動きをよく見て落ちていて戦いましたが、一瞬の隙をつかれてメンを決められ、初戦は引き分けとなりました。高知県との試合では、山下選手が終始攻め続け、有効打突かと思われ

る技もありましたが旗が上がらず引き分け、伊藤選手も中心をとってまっすぐに打ち切ったメンに旗が1本上がりましたが惜しくも1本にはならず、逆に相手にメンを2本奪われました。和田選手は初戦の反省を生かして絶えず先をとって攻め続け見事なメンを決めて1本勝ちとなりました。副将の堀選手はこの試合も冷静な試合運びを見せましたが、終盤に相手の放った右メンに一瞬反応が遅れて1本負けとなりました。下選手は最後まで1本を取りに行く気迫あふれる剣道でメンを奪いましたが、時間となり1本勝ちとなりました。

目標に届かなかったという結果に対する悔しさはありますが、大会までの努力の過程の中に、それぞれの選手の成長が見られたことをうれしく思います。この大会での経験が今後のさらなる成長につながることを期待しています。ご協力下さいましたすべての方々、応援して下さいました。本大会にありがとうございました。

第68回全日本東西対抗剣道大会

令和4年9月18日(日) 於 神戸市立中央体育館 全日本剣道連盟主催の「第68回全日本東西対抗剣道大会」が9月18日(日)、神戸市立中央体育館で開催さ

れ、福井県から西川航平選手(錬士七段、南越前地区)が東軍26将、堀江範雄選手(教士八段、福井地区)が東軍7将で出場しました。優勝は東軍でした。試合結果は次の通りです。

西軍 東軍  
26将 西川航平 大城戸知  
ーコ、メ (錬士七段、大阪府)

7将 堀江範雄 高橋英明  
ーメ (教士八段、京都府)

▽女子の部

東軍 3勝引き分け 西軍 3勝

▽男子の部

優勝 東軍15勝12敗

第77回国民体育大会

令和4年10月3日(月) 5日(水)

於 ユウケイ武道館 (栃木県総合運動公園武道館) 栃木県宇都宮市のユウケイ武道館で開催された「第77回国民体育大会剣道競技」で、本県からは成年男子チームが出場。



先鋒 中村祥太郎 (明治大)  
 次鋒 林田 匡平 (丸岡高教員)  
 中堅 鈴木 秀典 (福井県警察)  
 副将 松井 宏文 (敦賀気比高教員)  
 大将 山本 英俊 (福井農林高教員)  
 1 回戦は北海道と対戦し、3 対 1 で勝利。2 回戦は東京都と対戦、先鋒、次鋒が 2 本勝ちしましたが中堅、副将、大将が善戦しながらも負け、取得本数では上回りながらも 2 対 3 で惜敗、3 回戦には進めませんでした。結果は次の通りです。

▽成年男子 1 回戦

福井 3-1 北海道  
 中村 メ、メーコ 大塩  
 林田 メー 地白  
 鈴木 メー 後木  
 松井 コーコ 福井  
 山本 ーメ、メ 佐賀  
 ▽2 回戦  
 福井 2-3 東京  
 中村 コ、メー 星子  
 林田 メ、メー 竹ノ内  
 鈴木 ドーメ、コ 畠中  
 松井 ード 小関  
 山本 コード、メ 笹川

【所感】

栃木国体監督 柳原 潤一郎  
 新型コロナウイルスの影響で 3 年ぶり

の開催となった国体が、10 月 3 日 (月) ～ 5 日 (水)、栃木県宇都宮市のユウケイ武道館にて行われました。本県からは成年男子の部に先鋒：中村翔太郎 (明治大学)、次鋒：林田匡平 (丸岡高校教員)、中堅：鈴木秀典 (福井県警)、副将：松井宏文 (敦賀気比高校教員)、大将：山本英俊 (福井農林高校教員) の各選手が出場しました。

事前に発表されていた組み合わせは大変厳しいものでしたが、福井国体の総合優勝、三重国体の中止に伴う代替大会での 3 位入賞、全日本選手権での林田選手の活躍など、強豪との戦いを何度も経験している本県選手の士気は高く保たれ、地元栃木県との対戦が予想される準々決勝進出を目標に錬度の高い稽古を重ねることができました。宇都宮高校で行われた前日練習には本県アドバイザーの高橋俊昭先生も駆け付けてくださり、本番に備えました。

初戦の北海道戦では、先鋒中村選手がコテを先取されたもののメン 2 本を取り返して先制し、林田選手、鈴木選手がともにメンの一本勝ちを収めて 3 連勝と絶好のスタートを切りました。

警視庁の選手を 5 人そろえる東京都との対戦となった 2 回戦は、この日の最終試合となりましたが、会場

内は試合を終えた選手や多数の観客が見守る中で始まりました。昨年の選手権者星子選手に対する中村選手は、開始早々から気後れすることなく前に出て攻撃を仕掛けます。そして、負けじと出てくる星子選手の攻撃を読んでいたかのように鮮やかな出ばなコテを決めます。先制後も守りに入ることなく中心を攻め、今度は星子選手が間を詰めて出ようとするとともにメンに跳び込むと、これも決まり 2 本勝ちします。続く林田選手の内選手です。序盤、竹ノ内選手が何度も引きメンを仕掛けてきま

すが決まりません。中盤、林田選手は足を使って凌ぎながら機を伺い、間を詰めてメン・メンの連続技に出るとこれが決まります。この後、竹ノ内選手はツキ、豪快な飛び込みメ

ンなど猛反撃に出ますが、こども凌ぎます。境界線でもつれて「止め」がかかり、再開直後、罅迫り合いに入った瞬間に林田選手が引きメンを放つと、これが決まって 2 本勝ち。場内が騒々しくなります。中堅鈴木選手は畠中選手と一進一退の攻防を続けますが、中盤コテに出たところをコテメンに乗られて先制されます。

数合後、今度は畠中選手のメンを鈴木選手がドウに返してタイにします。この 1 本を返したことで、以降 1 つ

引き分ければ本県の勝ちが決定するところまで追い詰めますが、試合終盤、鈴木選手の手元が上がった瞬間コテを決められます。副将松井選手は柔軟で軽快な動きで相手の小関選手に狙いを定めさせません。中盤、惜しい引きメンや引きドウなどもありましたが決まらない中、残り時間がまもなく 1 分になろうとするころ小関選手が逆ドウに出ます。わずかに下に外れたようにも見えましたが旗が上がり、そのまま 1 本負けとなります。2 対 2 で迎えた大将戦、山

本選手と笹川選手の一戦は、重厚な攻め合いから始まり、20 秒ほど続いた気争いから笹川選手が思い切つてメンに出ますが、ここに山本選手

の鋭いコテが決まり、先制します。2 本目、さらに続いた攻め合いから今度は笹川選手が逆ドウに出るとこれが決まります。勝負となった 3 本目は、1 本目と同じような攻め合いから再び笹川選手がメンに出ます。山本選手もメンを合わせようとした

ましたが、笹川選手のメンが勝り、わずかに及びませんでした。試合には相模副会長、西川専務理事はじめ福井県スポーツ協会の本部役員も多数駆けつけていただき、激励いただきました。また、全国各県の役員や選手の方々からも健闘をたたえる温かいお言葉を頂きました。

高橋先生からは、今後に向けた強化の在り方を改めてご教示いただきました。これらをもとに来年の鹿児島国体での入賞に向け、本県関係者が一丸となって取り組みたいと思います。



前日練習で戦術確認



1回戦終了後のミーティング



いご一会とちぎ国体 剣道競技会

### 第57回全日本居合道大会

令和4年10月8日(土)  
於 東京武道館

### 長谷川選手が本県勢初の ベスト8入賞!

全日本剣道連盟主催の「第57回全日本居合道大会」が10月8日(土)、東京都の東京武道館で開催されました。本県からは七段の部に大嶋雅典選手(越前地区)、六段の部に角裕幸選手(越前地区)、五段の部に長谷川翔平選手(福井地区)の3選手が出場。長谷川選手が県勢初のベスト8に入賞、団体戦でも福井県チームは過去最高の22位でした。全体で見ればまだ中程の順位ですが、本県代表選手の実力は確実に向上し、全国の代表選手と互角に渡り合えるレベルに達していることを今大会の結果が示しており、今後の更なる飛躍に期待されます。本県勢の結果は次の通りです。

#### 【七段の部】

大嶋 雅典 2回戦敗退

#### 【六段の部】

角 裕幸 1回戦敗退

#### 【五段の部】

長谷川翔平 準々決勝進出

※ベスト8



五段の部ベスト8入賞の  
長谷川翔平選手

#### 【団体総合順位】

福井県 22位  
※優勝は東京都



### 第38回全国道場対抗剣道大会 全国道場少年剣道選手権大会

令和4年10月16日(日)  
於 パークアリーナ小牧  
(愛知県)



開会式

本県勢の結果は次の通りです。

#### ◆第38回全国道場対抗剣道大会

▽1回戦

福井養正館 3-1  
高知至誠館(高知県)

▽2回戦

福井養正館 0-5  
上の台剣友会(千葉県)



福井養正館

◆全国道場少年剣道選手権大会

【小学生男子の部】

▽1回戦

熊谷薩馬(福井養正館) ド、メ

工藤煌生(秋田県:楓凜館鹿角道場)

▽2回戦

熊谷 ヌ、ドーメ

一条龍樹(大阪府:小曾根剣友会)

▽3回戦

熊谷 コーメ、メ 閑田啓士朗

(広島県:毘沙門台剣道教室)

※熊谷選手はベスト16



熊谷薩馬選手

【小学生女子の部】

▽1回戦

橋本晏利(福井今立道場) ーメ、メ

池田美咲(北海道:三石翔武館)



橋本晏利選手

【中学生男子の部】

▽1回戦

和田憲知(福井今立道場) コーメ、メ

多田健人(徳島県:養武館)



和田憲知選手

【中学生女子の部】

▽1回戦

山下心優(鯖江剣道団) コ、コー

遠藤さつき(山形県:形成会)

▽2回戦

山下 ーコ、メ

橋口寧音羽(東京都:雄邦館)

第21回宮本武蔵顕彰女子剣道大会

令和 4 年 10 月 23 日(日)

於 宮本武蔵顕彰武蔵武道館

試合結果は次の通りです。

【団体戦 101歳〜150歳以下の部】

▽予選リーグ

【第1試合場 Cブロック】

福井県 A 一期會(兵庫県)

橋本一美(坂井地区)

メーメ 坂本

谷口典子(越前地区)

ドー 兼田

田中佐代子(鯖江地区)

不戦勝 朝倉

福井県 A 丹波篠山市

剣道連盟(京都府)

橋本 引き分け モリス・ナタリー

谷口 メー 白川

田中 不戦勝 北川

【第5試合場 BNブロック】

福井県 B 三重県 B

大味香代子(坂井地区)

ーメ 向井

岡田恵子(坂井地区)

引き分け 高橋

堀江ユミ(坂井地区)

ード 中野

福井県 B 修道館山形道場(岡山県)

大味 ヌ、ドー 内山

岡田 ーメ 芝原

堀江 メー 岡田

※福井県A、福井県B共に予選リーグ敗退



「宮本武蔵顕彰(お通杯)女子剣道大会2022年」に出場して

橋本 一美

10月23日(日)、岡山県美作市の宮本武蔵顕彰武蔵武道館で「第21回宮本武蔵顕彰女子剣道大会」が開催されました。コロナ禍で大会中止になっていたため、3年ぶりの開催でした。福井県からは2チーム出場しました。大会は3人制の団体戦で、午前中は選手合計年齢101歳以上の部、午後は100歳以下の部に別れて試合が行われました。

会場は広々としていて、コロナ感染症対策が十分されていました。そのためアップもしつかりできました。福井県Aチーム、福井県Bチームとも、日頃鍛えた心と技で相手を攻め崩し、打ち込んでいききましたが、残念ながら両チームとも予選敗退という結果でした。

大会を振り返ると、鏑迫り合いからの引き技、技の尽きたところの引き技を積極的に狙って打ち込んで1

本にしているという印象を受けました。1本打って終わるのではなく、気持ちの切らずに技を繋げて出して、1本にする稽古を心がけてやっていきたいと改めて思いました。

これからも、目標を立てて稽古をすることを大切に、剣道を続けていきたいです。また、どんな外に出て自分の剣道を試し、自分を知り、研究し、それを稽古に生かしてさらに充実した剣道を目指したいです。お通杯を通して色々なことを勉強することができました。とても幸せに思います。参加させて頂きありがとうございました。

来年度は、より多くの方々が予選会や大会に参加し、福井県の女子剣道がますます盛り上がることを願っております。

### 第70回全日本学生剣道優勝大会

令和4年10月30日(日)

於 エディオンアリーナ大阪  
学生剣道の男子団体で日本一を争う全日本学生剣道連盟など主催の「第70回全日本学生剣道優勝大会」が10月30日(日)、大阪市のエディオンアリーナ大阪で、全国8ブロックから代表64校が出場して行われました。優勝は筑波大学、準優勝は日本体育大学、3位は中央大学と近畿

大学。本県からは北信越学生剣道優勝大会を制した福井工業大学が出場。結果は次の通りです。

#### ▽1回戦

福井工業大学 2-0 東洋大学

#### ▽2回戦

福井工業大学 0-1 立命館大学



福井工業大学

### 第70回全日本剣道選手権大会

令和4年11月3日(木・祝)

於 日本武道館  
剣道日本一を決める全日本剣道連盟主催の「第70回全日本選手権大会」が11月3日(木・祝)、東京都の本武道館で全国各都道府県代表の64人が出場し、トーナメント戦で行われました。本県からは昨年度準優勝の林田匡平選手(丸岡高校教員、五段)が出場、3回戦で延長の末残念

ながら敗れましたが優秀選手賞を受賞しました。優勝は村上哲彦選手(愛媛県、愛媛県警察)で初優勝、準優勝は安藤翔選手(東京都、国士館大学教員)、3位は矢野貴之選手(東京都、警視庁)と池田虎ノ介選手(福岡県、筑波大学学生)。前回覇者の星子啓太選手(東京都、警視庁)は1回戦で敗れました。

#### 【林田選手の結果】

##### ▽1回戦

林田匡平 メ、メー

権丈文生(愛知県)

##### ▽2回戦

林田 メ、メー

松尾大樹(長崎県)

##### ▽3回戦

林田 メーメ、反

大谷昇平(福島県)

※林田選手はベスト16

#### 【優秀選手】

大谷 昇平(福島県)

松本 和明(香川県)

山下 雄輔(三重県)

中澤 公貴(高知県)

林田 匡平(福井県)

松崎賢士郎(茨城県)



### 第70回全日本剣道選手権大会に出場して

林田 匡平

この度第70回全日本剣道選手権大会に出場させていただき、ベスト16という結果を残し、優秀選手の表彰をいただくことができました。これも日頃より指導していただいた先生方、支えてくださった方々のお力添

えがあつてこそのことだと感謝しております。

昨年準優勝、過去2度3位に入賞させていた、だいており、今回こそは必ず優勝するという決意を持ち、例年以上に稽古に熱心に取り組み試合に臨みましたが、力及ばず3回戦で福島県の大谷選手に敗れてしまいました。敗れた決まり手は、竹刀を落としてしまったことによる反則でした。そこに至るまでの試合の展開において、終始「先」をとられた試合内容であつたことが最後のミスにながつてしまつたと感じております。

10月に行われた栃木国体では、1回戦北海道に勝利し、2回戦では東京をあと1歩のところまで追いつめる試合展開となりました。福井国体が終了し4年目となりますが、福井県の剣道のレベルは確実に向上していることを実感しました。福井国体で得たものを今後もさらに強化につなげていくことができたらと思っております。

私自身、今回の結果の悔しさを忘れることなく、この大会で優勝するという強い決意で今後より一層精進して参りたいと思ひます。また指導者として後進の育成に全力を尽くし、福井県の剣道を盛り上げていきたいと思ひます。今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

申し上げます。

### 観戦記

常務理事 堀江 範雄

11月3日(木・祝)、今年も武道の聖地、日本武道館において剣道日本一を決める「全日本剣道連盟設立70周年記念 第70回全日本剣道選手権大会」が開催された。本県連盟役員及び応援として西川専務理事、山本常務理事、私(堀江)の3人が上京し観戦した。新型コロナウイルス対策が徹底される中、有観客で実施された。記念大会であることから皇族で剣道五段の瑤子女王殿下がご臨席された。開会式で網代会長の挨拶の後、瑤子女王から「以前の大会状況にはまだ遠いが、訓練の制限がある多数の警察官の出場と、観客を入れて大会が開催されることは大変喜ばしい。選手はこの武道館で日本一を目指して欲しい」とのお言葉があつた。

試合が開始されたが、昨年度優勝の星子選手(警視庁)、過去の覇者の西村選手(熊本県警)や國友選手(福岡県警)、また優勝候補選手の宮本選手(警視庁)等が初戦または2回戦で次々と敗退する波乱?の展開となつた。

本県代表で前回準優勝の林田匡平選手は、1回戦が愛知県代表で県警

特練員の権丈選手。お互い立ち上がりこそ探りを入れながの状況が続いたが、林田選手が飛び込みメン2本を決めて快勝した。この時我々の目には相手に竹刀が当たっているのが分からないくらい、打突の冴えと体の切れが大変良く、今日は調子が良いと感じた。

2回戦は長崎県代表で県警の特練員で松尾選手。試合開始早々飛び込みメンが決まり先取、2本目も相手が逆胴を打つてくる瞬間を素早くメンを痛打し快勝した。試合時間も短く観客からは「林田選手の体の切れが抜群だ、これは優勝するのでは?」との声が聞こえて、我々もそう感じた。

3回戦は福島県代表で県警特練員の大谷選手。なかなか攻め込んで来なくタイミングが合わないメンで、タイミングの合わないメンを先取される展開となつたが、林田選手は慌てることなく豪快にメンを取り返し勝負となつた。途中林田選手は厳しい判定と思われたが鏝鏡り合いからの分かれの反則をとられ、延長戦に入った。林田選手の素早い技がいつ炸裂するかと思つていたが、相手と接触する間際に竹刀を叩かれ竹刀が飛び、2回目の反則で1本取られ惜敗、思いもよらない結果となり会場はどよめいた。大変残念であり、

林田選手には掛ける言葉もなかったが、大変立派な試合であつたと思う。来年こそは「捲土重来」で頑張つて夢を叶えて頂きたいと、林田選手のファンはそう思っていることであらう。

今回私を感じたことは、「試合に絶対ということはない。何が起るか分からない。勝つことは並大抵ではない。しかし、誰にでも全日本で優勝するチャンスはある」ということ。それには全ての事に対して精進しなければならぬということである。環境が整っているから勝てるのではない。その状況でいかに努力するか。「勝ちに不思議な勝ちあり。負けに不思議な負けなし」。目に見えない努力が必要であると再確認した次第である。

### 第34回全国健康福祉祭

#### 剣道交流大会

(ねんりんピックかながわ2022)

令和4年11月13日(日)・14日(月)

於 伊勢原市体育館(神奈川県)

3年振りの開催となつた「第34回全国健康福祉祭 剣道交流大会(ねんりんピックかながわ2022)」が11月12日(土)・14日(月)、神奈川県伊勢原市の伊勢原市体育館で開催され、本県からは4月の県予選

会で選出された八幡喜己選手（福井地区）、田中秀幸選手（福井地区）、的矢俊昭選手（南条地区）、船田久三郎選手（福井地区）と、監督兼任で吉田淳夫選手（三方地区）の5選手が福井県チームとして出場。予選は4、5チームによるリンク方式のリーグ戦で、相模原市と京都市と対戦。善戦ながらも2敗し予選3位、決勝トーナメントには進出できませんでした。

試合結果は次の通りです。

▽予選リーグ 8ブロック

福井県	相模原市
八幡	上原
田中	新井
的矢	兒玉
船田	吉田
吉田	福島
福井県	京都市
八幡	石田
田中	岸原
的矢	崇進
船田	草木
吉田	音川

【予選リーグの結果】

1位	相模原市	5勝	11本
2位	京都市	4勝	8本
3位	福井県	3勝	6本
4位	高知県	1勝	3本



ねんりんピックかながわ出場選手

### 「ねんりんピックかながわ 2022」に出場して

田中 秀幸

「本県では、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念である『未病 (MEIYOKU)』の改善に取り組んでいます。スポーツに取り組み、健康のすばらしさを発信することにより、未病への意識を高め、笑顔があふれる健康長寿社会を目指しましょう」これは「ねんりんピックかながわ2022」総合開会式での、黒岩祐治神奈川県知事の挨拶です。過去最高の32種目の競技等を行う第34回全国健康福祉大会が3年ぶりに開催されました。総合開会式は横浜アリーナで行われ、黒岩知事をはじめ司会者に榊原郁恵、国歌の独唱に河村隆一、アトラクショ

ンのダンスの振り付けにラッキー池田、そしてモニュメント点灯セレモニーに草笛光子など、テレビ等でなじみの歌手や俳優が次々に登場し、全国各地からの参加者を歓迎していました。

剣道競技は11月13日(日)〜14日(月)の2日間にわたって、伊勢原市体育館で行われました。大会には47都道府県と17政令指定都市から計67チームが参加しました。競技方法は、4チームまたは5チームごとの16ブロックに区分けしてリンク方法による予選リーグ、各ブロックの1位チームによる決勝トーナメントです。

福井県チームは、先鋒：八幡喜己（福井地区）、次鋒：田中秀幸（福井地区）、中堅：的矢俊昭（南越前地区）、副将：船田久三郎（福井地区）、大将：吉田淳夫（三方地区）で参加し、相模原市（神奈川県）、京都市（京都府）の2チームと対戦しました。

初戦は相模原市と対戦しました。先鋒八幡は、長身の相手に対して逆胴など多彩な技を繰り出すものの、相手が剣先を低くして小手を意識させる攻めに苦しみ、手元を固く守ったところをメンに乗られました。次鋒田中は、相手が手元を浮かせる瞬間をとらえてコテを取り、その後の

相手の反撃をしのぎました。中堅的矢は、試合開始早々に相手の竹刀を払ってコテを取りチームを大いに盛り上げましたが、相手にコテを取り返され、勝負の3本目に相手の手元が浮いたところのドウが不十分となり、その振り返り直後をメンに乗られました。副将船田は、相手との間合いを測りつつメンを繰り出すもドウを返されましたが、コテからのメンに乗って取り返しました。その後一進一退の攻防が続く、最後はメンに乗られました。大将吉田は、相手のやわらかい竹刀さばきに警戒しながらも、果敢に上からの力強い技を繰り出し続け、試合終盤に相手の一瞬の隙をつきメンを取りました。

次に京都市と対戦しました。先鋒は、相手の落ち着いた構えを崩そうと思いついてメンを取りにいったところをかわされてメンに乗られ、さらにコテを取られました。次鋒は相手がコテを打ってくるのを摺り上げメン、その後メンを返され、しばらく攻防が続きましたが、相手の技が尽きた隙を捉えてメンを取りました。中堅は相手の攻めをうまくかわしながら試合を進めるものの、中盤に攻めの強さに耐えかねたところをメンに乗られました。副将は長身の相手に対して慎重にメンを攻め、出てくる瞬間を捉えたかに思えた場

面もありましたが、不十分との判定か旗は上がらず、引き分けとなりました。大将は相手の表からの強い攻めに對して苦しみながら、メンに乗ってくることを返しドウで応戦しましたが、両者決まらず、引き分けとなりました。

チームは相模原市、京都市のいずれにも破れ、決勝トーナメント進出とはなりません。ただ試合時間いっぱい戦うなど、それぞれの選手が持ち味を出し切っていました。4月の予選会で選考されて以降、石川県での練習試合への参加や全員そろって数回の練習を行うなど、精進を重ねてきた結果が発揮できた内容であったと自負しています。なお福井県に勝った2チームは、高知県との対戦にも勝利して2勝同士となりましたが、福井県との勝ち数が決勝トーナメントへの分かれ目となり、相模原市が進出しました。

予選敗退が決まり観覧席で観戦していると、小さな男の子と女の子を連れた夫婦の姿がありました。奥さんの父親であり、子どもたちの「じいじ」である選手の出番を待っているとのことでした。子や孫が「じいじ」を選手として応援するという「人生100年」の時代の風景がありました。

他県の選手にねりんピックの選

考会について伺うと、多数の参加者があり厳しい選考になるとのことでした。本県では4月の初めに選考会が行われていますが、他県に比べ参加者が少ないように思います。本県においてもねりんピック参加要件を満たしながら、日々剣道の稽古に励まれている方が多数いらっしゃると思います。その方々が「未病」に對する意識を高めて剣道に取り組みながらも、お子さんやお孫さんに応援してもらえる大会へつながる予選会へ参加されることを願いつつ、「ねりんピック」かながわ2022大会」の記録とします。

### 第41回全日本女子学生 剣道優勝大会

令和4年11月13日(日) 於 春日井市総合体育館  
 剣道の大学女子団体日本一を決める「第41回全日本女子学生剣道優勝大会」が11月13日(日)、愛知県春日井市の春日井市総合体育館で開催され、9月の北信越地区大会で優勝した福井工業大学が地区代表で出場。1回戦はシード、2回戦で關東地区代表の清和大学と対戦、2対0で惜敗しました。

▽2回戦  
 福井工業大学  
 魚住 引き分け 清和大学  
 笠嶋 引き分け 諸岡  
 牛嶋 引き分け 仲  
 古屋 引き分け 山村  
 篠崎 引き分け 井石  
 田添



大会出場の福井工業大学女子

### 大会・予選会・稽古会等

#### 第42回北信越中学校剣道大会

令和4年8月5日(金) 於 長野県立武道館

#### 福井県勢の結果

【男子団体】  
 予選リーグB 1位 三方中  
 予選リーグC 3位 丸岡中  
 予選リーグD 1位 鯖江中

▽決勝トーナメント  
 1回戦  
 宇ノ氣中(石川)  
 鯖江中 3-0 三方中  
 羽咋中(石川)

▽準決勝  
 鯖江中 2-1 羽咋中(石川)  
 宇ノ氣中 2-1 鯖江中

※鯖江中学校は3位入賞



3位入賞の鯖江中学校

#### 【男子個人】

5位 下 寛人(丸岡中)  
 5位 和田憲知(武生一中)



男子個人の入賞者

【女子団体】

- 予選リーグB 3位 中央中
- 予選リーグC 4位 明倫中
- 予選リーグD 1位 鯖江中

▽決勝トーナメント

- 1回戦 松代中(長野) 3-0 鯖江中

【女子個人】

- 5位 西山倫代(中央中)
- 5位 中村 葵(中央中)



女子個人の入賞者

観戦記

県中体連剣道競技専門部

副部長 山田 英典

8月5日、長野県立武道館にて第43回北信越中学校総合競技大会が行われた。佐久市にある長野県立武道館は素晴らしい施設で、試合をする選手にとっても思い出に残る試合になるだろうと期待を持つことができた。

福井県では4日からの記録的な大雨の影響で、大きな被害に見舞われた。選手たちには試合をすることが

できることに感謝し、力を出し切って頑張つて欲しいと願った。大会が始まってみると、他県では新型コロナウイルス感染の影響で欠場者もあり、心が痛んだ。

女子団体戦には鯖江中学校、中央中学校、明倫中学校が出場し、鯖江中学校が予選リーグを全勝し1位で通過したが、決勝トーナメント1回戦で長野県の松代中学校に惜しくも敗退した。男子団体戦には鯖江中学校、三方中学校、丸岡中学校が出場し、鯖江中学校と三方中学校が予選リーグを1位で通過した。特に三方中学校は粘り強い試合を展開し、見事な予選リーグ突破であった。決勝トーナメントでは、三方中学校は石川県の宇ノ気中学校に敗れた。鯖江中学校は実力を発揮し石川県の羽咋中学校に勝利したが、続く準決勝で宇ノ気中学校に惜敗した。立派な3位入賞であった。鯖江中学校は男女ともに県大会から北信越大会まで、「つなぐ」試合内容が光った。北海道全中でもメンバー全員で、「つなぐ」試合をしてきて欲しいと思う。

個人戦にも男女6人ずつ出場した。女子個人戦では、中央中学校の西山選手と中村選手が5位入賞。男子個人戦でも丸岡中学校の下選手と武生第一中学校の和田選手が5位に入賞した。例年よりも1回戦を突破する

生徒も多く、技や駆け引きで勝負する選手が粘り強く試合をする姿が印象的であった。他県のように体格的に大きな生徒が少ない本県でも、パワーだけでは無い剣道スタイルを選手自らが磨いていくことも必要であると感じた。

来年度は石川県で行われる予定の北信越大会。北信越大会で上位に進むためにも、「つなぐ」試合ができるチームワークの向上と、気力・技力・体力の向上が求められる。本県選手のみならず今後とも頑張っていきたい。

第51回福井県少年少女

剣道錬成武生大会

令和4年8月11日(木)

於 越前市アイシンスポーツ

アリーナ

試合結果は次の通りです。

【団体試合】

- 優勝 福井養正館
- 準優勝 福井今立道場
- 3位 敦賀市剣道スポーツ少年団
- 3位 木田剣道スポーツ少年団

【個人試合】

▽3年生以下A

- 優勝 木村 江那 (福井今立道場)
- 準優勝 田中 湊真 (森田少年剣道教室)
- 3位 荒川 幸穂 (福井東部剣道教室)

- 3位 中川 夏希 (粟野剣道教室)

▽3年生以下B

- 優勝 山田 逢生 (福井今立道場)
- 準優勝 服部 誠大 (小浜少年剣道教室)
- 3位 三好 希実 (五常館)
- 3位 田中 陽愛 (武生西剣道スポーツ少年団)

▽4年生A

- 優勝 岸本 清広 (福井養正館)
- 準優勝 呉林嵩太郎 (向笠剣道スポーツ少年団)
- 3位 村瀬 葵衣 (新風館)
- 3位 加藤 星渚 (大野市剣道教室)

▽4年生B

- 優勝 山田 愛莉 (武生南剣道スポーツ少年団)
- 準優勝 和彥田紫聖 (武道学園)
- 3位 廣中 永都 (吉川剣道スポーツ少年団)
- 3位 吉田 幸彌 (五常館)



- ▽5年生 A
  - 優勝 中村 将希(福井養正館)
  - 準優勝 野木場峻晟  
(小浜少年剣道教室)
  - 3位 田中 駿丞
  - (武生西剣道スポーツ少年団)
  - 3位 武長由比孝  
(向笠剣道スポーツ少年団)
- ▽5年生 B
  - 優勝 北川 将大  
(木田剣道スポーツ少年団)
  - 準優勝 芦田 結葉 (劍誠館)
  - 3位 赤澤亜妃子  
(武生南剣道スポーツ少年団)
  - 3位 小堀 苺愛  
(向笠剣道スポーツ少年団)
- ▽6年生 A
  - 優勝 長谷川沙津紀  
(向笠剣道スポーツ少年団)
  - 準優勝 尾川一之進(福井養正館)
  - 3位 加藤 悠月  
(大野市剣道教室)
  - 3位 三田村汰門  
(福井今立道場)
- ▽6年生 B
  - 優勝 山口 侑大  
(神山剣道スポーツ少年団)
  - 準優勝 吉田ひかり (劍誠館)
  - 3位 中川 朋洋  
(栗野剣道教室)
  - 3位 田中和乃香  
(森田少年剣道教室)



団体 3 位の敦賀市剣道スポーツ少年団



団体準優勝の福井今立道場



団体優勝の福井養正館



団体 3 位の木田剣道スポーツ少年団

### 第43回北信越国民体育大会 剣道競技

令和 4 年 8 月 20 日(土)・21 日(日)  
於 福井県立武道館

8 月 21 日(日)に福井県立武道館で、「第 43 回北信越国民体育大会 剣道競技」が開催されました。本県チームの少年男子が 4 位、少年女子が 3 位となり、残念ながら本国体出場を逃しました。成年女子は棄権しました。

試合結果は次の通りです。

#### 【成年女子リーグ戦】

- 1 位 石川県 (本国体出場)
  - 2 位 新潟県
  - 3 位 長野県
  - 4 位 富山県
- ※福井県は棄権

#### 【少年男子リーグ戦】

- 福井県 2-0 石川県
- 福井県 2-2 (本数勝ち) 新潟県
- 福井県 0-0 (代表勝ち) 富山県
- 福井県 4-1 長野県
- 1 位 石川県 (本国体出場)
- 2 位 富山県
- 3 位 新潟県
- 4 位 福井県
- 5 位 長野県

#### 【少年女子リーグ戦】

- 福井県 2-0 富山県
- 福井県 0-1 新潟県
- 福井県 2-2 (代表勝ち) 石川県
- 福井県 1-1 (引き分け) 長野県
- 1 位 石川県 (本国体出場)
- 2 位 新潟県
- 3 位 福井県
- 4 位 長野県
- 5 位 富山県



少年女子の試合

成年女子の試合



少年男子の試合



少年男女の福井県チーム

### 令和4年度福井県剣道大会 (中学生の部)

令和4年9月17日(土)  
於 福井県立武道館

福井県剣道連盟は主催の「福井県剣道大会(中学生の部)」を9月17日(日)、福井県立武道館で開催しました。県内各中学校から男子の部には22チーム、女子の部には19チームが出場し、熱戦を繰り広げました。試合結果は次の通りです。

#### 【男子の部】

- 優勝 三方中学校
- 準優勝 松陵中学校
- 3位 森田中学校
- 3位 春江中学校



優勝の三方中学校

#### 【女子の部】

- 優勝 中央中学校
- 準優勝 鯖江中学校

- 3位 三方中学校
- 3位 芦原中学校



優勝の中央中学校

### 令和4年度第70回福井県剣道大会 (一般男女の部)

令和4年9月18日(日)  
於 福井県立武道館

福井県剣道連盟は主催の「第70回福井県剣道大会(一般男女の部)」を9月18日(日)、福井県立武道館で開催しました。各地区剣道連盟、団体から男子の部には11チーム、女子の部には4チームが出場し、熱戦を繰り広げました。試合結果は次の通りです。

#### 【一般男子の部】

- 優勝 鯖江地区剣道連盟
- 準優勝 敦賀地区剣道連盟
- 3位 福井県学校剣道連盟

#### 【一般女子の部】

- 優勝 越前地区剣道連盟
- 準優勝 坂井地区剣道連盟
- 3位 福井地区剣道連盟



優勝の鯖江地区剣道連盟



優勝の越前地区剣道連盟

### 令和4年度(一財)福井県剣道連盟表彰

開会式に先立ち「令和4年度(一財)福井県剣道連盟表彰」を行いました。

受賞者は次の通りです。

【功労賞】

- 北島 弘治 (坂井地区剣道連盟)
- 橋本 栄二 (越前地区剣道連盟)
- 小山 裕生 (鯖江地区剣道連盟)
- 小辻 淳二 (敦賀地区剣道連盟)
- 新谷 勝利 (若狭地区剣道連盟)
- 大畑 素夫 (三方地区剣道連盟)
- 猿渡 和義 (大飯地区剣道連盟)



【優秀選手賞】

- 大西ななみ (令和 4 年度第 64 回全国教職員大会 優勝)
- 菅藤 尚哉 (第 64 回北信越学生剣道選手権大会 男子の部 優勝)
- 井手 和樹 (第 64 回北信越学生剣道選手権大会 男子の部 準優勝)

令和 4 年度

居合道伝達講習会

令和 4 年 9 月 25 日(日) 於 越前市武道館

福井県剣道連盟居合道部は 9 月 25 日(日)、越前市武道館で「令和 4 年度居合道伝達講習会」を開催しました。

今回の講習会は 7 月に山梨県で開催された「全剣連 居合道中央講習会」での講習内容を県内会員へ広めることを目的として開催、同講習会へ派遣された長谷川翔平五段(福井地区)が講師を務めました。

午前の講習では、高段者が指導する際の注意点を「指導上の留意点」として解説しました。特に初心者へはわかりやすい表現が重要であることを説明、参加者は初心者から高段者まで熱心にメモを取っていました。午後からの講習では、高段者を対象に審判講習も併せて実施し、主に審判規則の解説を行いました。



令和 4 年度

第 17 回福井県中学校秋季 新人競技大会 剣道競技

令和 4 年 10 月 15 日(土) 於 敦賀市中郷体育館

10 月 15 日(土)に敦賀市中郷体育館において開催。コロナウイルス感染症の対策を十分に取しながら、有観客の中で実施した。団体戦では、男子は松陵中学校が初優勝、女子は中央中学校が 5 年ぶり 2 回目の優勝を果たした。結果は次の通りです。

【男子】

- ▽団体予選Aリーグ
  - 1 位 松陵中学校
  - 2 位 鯖江中学校
  - 3 位 武生第六中学校
  - 4 位 森田中学校
- ▽団体予選Bリーグ
  - 1 位 中央中学校
  - 2 位 清水中学校
  - 3 位 春江中学校
  - 4 位 小浜第二中学校
- ▽団体決勝トーナメント 準決勝
  - 松陵中学校 5-0 清水中学校
  - 鯖江中学校 4-0 中央中学校

決勝

松陵中学校 3-0 鯖江中学校 ※松陵中学校は初優勝



優勝の松陵中学校

▽個人1年

- 1 位 崎元 煌太 (松陵中学校)
- 2 位 橋詰 慶一 (三方中学校)
- 3 位 日高宗一郎 (三国中学校)
- 4 位 荒木 駿平 (越前中学校)



個人1年入賞者

▽個人全学年

- 1位 山田 典悠 (南越中学校)
- 2位 堀礼 旺奈 (鯖江中学校)
- 3位 脇本 寛大 (足羽第一中学校)
- 3位 元井 颯汰 (松陵中学校)



個人全学年入賞者

【女子】

▽団体予選Aリーグ

- 1位 中央中学校
- 2位 栗野中学校
- 3位 森田中学校
- 4位 小浜第二中学校

▽団体予選Bリーグ

- 1位 朝日中学校
- 2位 武生第二中学校
- 3位 明倫中学校
- 4位 芦原中学校

▽団体決勝トーナメント

準決勝

中央中学校 5-0 武生第二中学校

朝日中学校 2-1 栗野中学校  
 決勝  
 中央中学校 4-0 朝日中学校



優勝の中央中学校

▽個人1年

- 1位 藤井 心翠 (中央中学校)
- 2位 竹内希莉奈 (朝日中学校)
- 3位 高原和花奈 (坂井中学校)
- 3位 芦田 朋葉 (三方中学校)



個人1年入賞者

▽個人全学年

- 1位 西山 倫代 (中央中学校)
- 2位 中村 葵 (中央中学校)
- 3位 林 由佳 (清水中学校)
- 3位 守 彩花 (中央中学校)



個人全学年入賞者

令和4年度福井県地方 青少年剣道錬成大会

令和4年10月22日(土) ~ 23日(日)

於 福井県立武道館

10月22日(土)・23日(日)、「令和4年度福井県地方青少年剣道錬成大会」が開催されました。講師の先生方は、重松隆先生(範士八段)、飯田茂裕先生(教士八段)、田中宏明先生(教士八段)です。

22日(土) 午前中は木刀を使って素振り・木刀稽古法、午後は面を着けて基本技・打ち込み稽古などを行

いました。23日(日) 午前中は面を着けて基本練習、午後は地稽古を行いました。

参加した小学生剣士は講師の先生方の話を真剣に聞き、熱心に稽古に励みました。質疑応答では、数多くの質問があり、先生方は一つ一つ丁寧に回答をしてくださいました。2日間で学んだことを各教室に持ち帰って益々精進し、強くなろうと確認しました。





### 令和4年度福井県中学校 秋季強化錬成会

令和4年10月29日(土)

於 福井県立武道館

福井県中学校体育連盟(剣道専門部)による「令和4年度福井県中学校秋季強化錬成会」が10月29日(土)、県立武道館で開催されました。3年振りの開催となり、男子37校、女子34校が参加しました。1次リーグから3次リーグまで、各校上位進出を目指して勢いのある試合がたくさん行われました。

この中体連錬成会はあと2回行われ、ランキングは来年の福井県夏季総合競技大会のシード決定や補充枠、県外遠征の指定校などに使われることとなります。



### 第53回嶺南剣道大会

令和4年11月3日(木・祝)

於 若狭町三方体育館

嶺南地区剣道連盟(敦賀・三方・若狭・大飯各地区剣道連盟持ち回り)主催、三方地区剣道連盟主管、福井県剣道連盟など後援の「第53回嶺南剣道大会」が11月3日(木・祝)、若狭町三方体育館で開催されました。結果は次の通りです。

#### ▽小学生男子

優勝 福井養正館A

準優勝 向笠剣道スポーツ少年団

第3位 敦賀市剣道スポーツ少年団

第3位 栗野剣道教室



優勝の福井養正館A

#### ▽小学生女子

優勝 向笠剣道スポーツ少年団A

準優勝 剣誠館

第3位 敦賀市剣道スポーツ少年団

#### ▽中学生男子

優勝 松陵中学校A

準優勝 三方中学校A

第3位 松陵中学校B



優勝の松陵中学校A

#### ▽中学生女子

優勝 三方中学校

準優勝 栗野中学校

第3位 松陵中学校

第3位 気比中学校



優勝の向笠剣道スポーツ少年団A

- ▽高校生男子
  - 優勝 敦賀高校A
  - 準優勝 敦賀気比高校A
  - 第3位 敦賀高校B
  - 第3位 敦賀気比高校B
- ▽高校生女子
  - 優勝 敦賀高校B
  - 準優勝 敦賀気比高校B
  - 第3位 敦賀気比高校A
  - 第3位 敦賀高校A
- ▽一般男子
  - 優勝 三方地区剣道連盟
  - 準優勝 敦賀地区剣道連盟
- ▽一般女子
  - 優勝 敦賀地区剣道連盟
  - 準優勝 三方地区剣道連盟
- ▽壮年
  - 優勝 敦賀地区剣道連盟A
  - 準優勝 三方地区剣道連盟A



優勝の三方中学校



壮年優勝の敦賀地区剣道連盟A



一般女子優勝の敦賀地区剣道連盟



一般男子優勝の三方地区剣道連盟

令和4年11月5日(土)  
・6日(日)  
於 若狭町三方体育館・  
三方中学校体育館

**第30回福井県近県中学生  
合同剣道錬成会**

県剣道連盟(中学校委員会)主催  
の「福井しあわせ元気国体記念事業  
第30回福井県近県中学生合同剣道錬  
成会」が11月5日(土)・6日(日)、  
若狭町の若狭町三方体育館と三方中  
学校体育館で行われました。

5日(土)は3年振りに県外校を  
招待し開催。県外校10校、県内校10  
校による錬成会は、活気に満ちた試  
合が多く有意義な錬成会となりました。



熟年優勝の敦賀地区剣道連盟

- ▽熟年
  - 優勝 敦賀地区剣道連盟
  - 準優勝 三方地区剣道連盟



た。6日(日)は県内校のみの錬成  
会で、男子16校、女子13校が参加し  
ました。

各校が切磋琢磨しながら、県内全  
体の強化へと繋げています。1月には  
冬季錬成大会が行われますので、  
さらにレベルアップをした中学生の  
姿が見られることを楽しみにしてい  
ます。

### 第45回全国スポーツ少年団 剣道交流大会福井県予選会

令和 4 年 11 月 6 日 (日)

於 トリムパークかなづアリーナ

福井県スポーツ協会・福井県スポーツ少年団主催の「第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会福井県予選会」が11月6日(日)、あわら市のトリムパークかなづで開催されました。試合結果は次の通りです。

#### ▽団体戦 全国大会予選の部

- 1位 木田剣道スポーツ少年団
- 2位 向笠剣道スポーツ少年団
- 3位 敦賀市剣道スポーツ少年団



1位の木田剣道スポーツ少年団

#### ▽団体戦 交流の部

- 1位 福井養正館スポーツ少年団A
- 2位 今立剣道スポーツ少年団A
- 3位 鳥羽スポーツ少年団剣道部
- 3位 福井養正館スポーツ少年団B

#### ▽個人戦 中学生男子の部

- 1位 元井 颯汰  
(福井養正館スポーツ少年団)
- 2位 和田 憲知  
(今立剣道スポーツ少年団)
- 3位 堀 礼旺奈  
(鯖江剣道スポーツ少年団)
- 3位 常田和太郎  
(福井養正館スポーツ少年団)



1位の福井養正館スポーツ少年団A

#### ▽個人戦 中学生女子の部

- 1位 森川 瑞紀  
(今立剣道スポーツ少年団)
- 2位 平田 はな  
(松岡剣道スポーツ少年団)
- 3位 守 彩花  
(鯖江剣道スポーツ少年団)
- 3位 中村 葵  
(今立剣道スポーツ少年団)

団体戦全国大会予選の部、個人戦各部の1位は2023年3月25日

(土) 27日(月)、新潟県で開催予定の「第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会」に出場します。



個人戦優勝の元井颯汰選手と  
森川瑞紀選手

### 第45回中部地区剣道少年団 研修会福井県予選会

令和 4 年 11 月 11 日 (金)

於 敦賀市きらめきみなと館

福井県剣道道場連盟は、剣道を通じて学んだことを作文で発表する「第45回中部地区剣道少年団研修会福井県予選会 体験・実践発表会」を11月11日(金)、敦賀市の「敦賀市きらめきみなと館 小ホール」で開催しました。小学生の部6人、中学生の部4人が発表、同連盟の紺屋嶋三津男副会長ら6人が審査しました。

小・中学生各最優秀賞1名は、富山県道場連盟主管で12月3日(土)に富山市のとやま自遊館(富山市湊

入船町9-1)で行われる「第45回中部地区剣道少年団研修会」で発表します。結果は以下の通りです。

#### ▽小学生の部

- 最優秀賞 尾川一之進  
(福井養正館、栗野小学校6年)
- 優秀賞 向井 結衣  
(敦賀市剣道スポーツ少年団、敦賀西小学校5年)
- 優良賞 水野 新大  
(豊神館、豊小学校6年)

- 敢闘賞 川端 沙歩  
(栗野剣道教室、栗野南小学校6年)
- 敢闘賞 川崎 一志  
(菅原武道館、菅原小学校6年)

- 敢闘賞 齋藤 楓我  
(鯖江剣道団、吉川小学校6年)



左から最優秀賞の尾川一之進さん、優秀賞の水野新大君、向井結衣さん、向笠新大君

▽中学生の部

最優秀賞 松口直次郎

(福井養正館、松陵中学校2年)

優秀賞 出口 慧

(敦賀市剣道スポーツ少年団、

松陵中学校2年)

優良賞 窪田 圭佑

(鯖江剣道団、鯖江中学校2年)

敢闘賞 中村 健

(豊神館、鯖江中学校年)



左から最優秀賞の窪田圭佑さん、優秀賞の松口直次郎さん、優良賞の出口直次郎さん

第45回中部地区剣道少年団  
研修会体験・実践発表会

令和4年12月3日(土)

於 とやま自遊館

中部地区道場連盟による「第45回中部地区剣道少年団研修会 体験・実践発表会」が12月3日(土)、富山市のとやま自遊館で開催され、本県からは11月11日(金)の福井県予選会で最優秀賞を受賞した尾川一之

進君(福井養正館、栗野小学校6年)と松口直次郎さん(福井養正館、松陵中学校2年)が出場。審査の結果二人共に優秀賞を獲得しました。



尾川一之進君(左)と松口直次郎さん(右)の優秀賞

令和4年度福井県高等学校  
剣道新人大会兼 都道府県  
対抗高校男子一次選考会

令和4年11月19日(土)

・20日(日)

於 福井県立武道館

試合結果は次の通りです。

【男子個人】

- 1位 東海 来夏(丸岡高)
- 2位 山本 天晴(丸岡高)
- 3位 坂元 煌(福井工大福井高)
- 4位 守 大翔(北陸高)



男子個人入賞者

【女子個人】

- 1位 森川 沙恵(敦賀高)
- 2位 豊岡 希咲(敦賀気比高)
- 3位 岸本 歩愛(敦賀高)
- 4位 北方 結女(敦賀気比高)



女子個人入賞者

【男子団体】

- 優勝 丸岡高校
- 2位 福井工業大学附属福井高校
- 3位 敦賀気比高校
- 3位 北陸高校

▽1回戦

羽水 (不戦勝) 鯖江

美方 (不戦勝) 啓新

北陸 1(本数勝ち) | 1 敦賀

藤島 4 | 1 福井高専

丸岡 4 | 0 金津

武生 5 | 0 武生商工

敦賀気比 4 | 1 高志

▽準々決勝

福井工大福井 5 | 0 羽水

北陸 3 | 1 美方

丸岡 4 | 0 藤島

敦賀気比 5 | 0 武生

▽準決勝

福井工大福井

2(本数勝ち) | 2 北陸

丸岡 1 | 0 敦賀気比

▽決勝

丸岡 2 | 0 福井工大福井



優勝の丸岡高校



【女子団体】

優勝 敦賀気比高校  
 2位 北陸高校  
 3位 敦賀高校  
 3位 美方高校  
 北信越出場校 丸岡高校

▽1回戦

敦賀気比 3-0 高志  
 福井商 2-1 藤島  
 丸岡 2-0 啓新

▽準々決勝

敦賀気比 5-0 武生

敦賀 5-0 羽水

美方 3-0 福井商

北陸 0(代表勝ち)-0 丸岡

▽5位決定戦 1回戦

武生 2-0 羽水

丸岡 4-0 福井商

▽5位決定戦 決勝

丸岡 5-0 武生

▽準決勝

敦賀気比 3-1 敦賀

北陸 3-2 美方

▽決勝

敦賀気比 3-1 北陸

※男子は4校、女子は5校が2023年2月の北信越新人大会出場



優勝の敦賀気比高校

男子団体優勝感想

丸岡高校

男子主将 宮嶋 凜太

僕たち丸岡高校剣道部は、先輩方が引退され18人の部員で新チームとなり、令和4年剣道新人大会に出場させていただきました。いつも僕たちのために、熱心なご指導をしてくださる先生方をはじめ、あたたかく見守ってくださっているOBの方々や先輩方、保護者の方々の支えがあったからこそ、毎日の稽古に励む事ができ、この大会で男子は優勝し、男女共に北信越大会出場を決める事ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。

僕たちは、先生方の熱心なご指導のもとで、先輩方の背中をみて、大切な事をたくさん教わってきました。積極的に1本を狙い攻める丸岡の剣

道を意識して、1本の大切さ、繋ぐ大切さ、信じる心を大切に試合ができたと思います。

これからも林田先生、高倉先生、千京先生、安原先生、谷田先生のご指導のもと、部員全員で助け合い、刺激しあい、高めあつて稽古に励んでいきたいと思えます。ありがとうございました。

女子団体優勝感想

敦賀気比高校

女子主将 杉原 歩佳

私たちは新人戦の女子団体で、敦賀気比高校として17年ぶり2度目の優勝を勝ち取ることができました。優勝が決まった瞬間、やっと優勝できた、と思えました。

去年の新人戦の決勝戦では、代表戦で延長の末負けてしまい、とても悔しい思いをしました。その後の大会でも2位や3位ばかりで思うような結果が出せず、その悔しさをバネに日々の練習に打ち込んできました。今回の優勝で、今までの何度も逃げ出したいと思う気持ちに負けず、厳しい稽古を積み重ねてきた時間、今までの努力が報われたと思えました。

今回の大会では全員が1試合目から堂々とした試合ができていました。次の試合まで時間が空いても硬くならずいつも通りで、集中が切れるこ

となく決勝戦まで闘い抜くことができました。

北信越大会では、自分たちらしく、福井県1位に相応しい試合ができるように、更にレベルアップしていきます。

第41回敦賀市長旗争奪

福井少年剣道錬成敦賀大会

令和4年11月23日(水)

於 敦賀市総合運動公園体育館  
 敦賀市剣道連盟主催、県剣道連盟など後援の「第41回敦賀市長旗争奪福井県少年剣道錬成敦賀大会」が11月23日(水・祝)、敦賀市総合運動公園体育館で開催されました。県内の小学生チーム38チームが参加、3年振りの「勝ち抜き試合」で優勝を競いました。優勝は福井養正館Aで5連覇を達成、また福井養正館Aの先鋒：岩谷明依選手が1回戦から準決勝までの4試合を1人で勝ち抜き、20人抜きを達成しました。

試合結果は次の通りです。

- 優勝 福井養正館A
- 準優勝 木田剣道スポーツ少年団A
- 第3位 武道学園剣道教室A
- 第3位 福井今立道場A
- 敢闘賞 木田剣道スポーツ少年団B
- 敢闘賞 敦賀市剣道スポーツ少年団

敢闘賞 菅原少年剣道教室  
鳥羽スポーツ少年団剣道部



準優勝の木田剣道スポーツ少年団A



優勝の福井養正館A

【特別賞】

20人抜き 岩谷 明依

(福井養正館A)

10人抜き 小林 冬翔

(敦賀市剣道スポーツ少年団)

10人抜き 北川 将大

(木田剣道スポーツ少年団B)



第3位の福井今立道場A



第3位の武道学園剣道教室A

10人抜き 北嶋 瑠騎

(木田剣道スポーツ少年団A)

10人抜き 西谷 零

(福井今立道場A)

5人抜き 脇本 滉大

(新風館愛宕坂道場)

5人抜き 田中 創也

(三国少年剣道教室)

5人抜き 畑 祐太郎

(鳥羽スポーツ少年団剣道部)



10人抜きの西谷零選手  
(福井今立道場A)



10人抜きの北嶋瑠騎  
選手(木田剣道スポーツ  
少年団A)



10人抜きの北川将大  
選手(木田剣道スポーツ  
少年団B)



10人抜きの小林冬翔  
選手(敦賀市剣道ス  
ポーツ少年団)



20人抜きの岩谷明依  
選手(福井養正館A)

第60回北信越学生剣道新人大会・  
第44回北信越女子学生剣道新人大会  
令和4年11月27日(日)  
於 福井県立武道館  
11月27日(日) 福井県立武道館で  
北信越学生剣道連盟主催の「第60回  
北信越学生剣道新人大会」、第44回  
北信越女子学生剣道新人大会」が開  
催され、男子団体で福井工業大学B  
が優勝、福井工業大学Aが準優勝、  
信州大学Aと福井工業大学Cが3位



5人抜きの畑祐太郎  
選手(鳥羽スポーツ  
少年団剣道部)



5人抜きの田中創也  
選手(三国少年剣道  
教室)



5人抜きの脇本滉大  
選手(新風館愛宕坂  
道場)

入賞しました。男子個人でも優勝、準優勝、3位(2名)を福井工業大が独占しました。試合結果は次の通りです。



【第60回北信越学生剣道新人大会】

- ▽団体
  - 優勝 福井工業大学B
  - 2位 福井工業大学A
  - 3位 信州大学A
  - 3位 福井工業大学C
- ▽個人
  - 優勝 小浦一郎 (福井工大)
  - 2位 小本駿也 (福井工大)
  - 3位 林翔琉 (福井工大)
  - 3位 熊崎晃誠 (福井工大)



3位の福井工業大学C



準優勝の福井工業大学A



優勝の福井工業大学B



個人入賞者

【第44回北信越女子学生剣道新人大会】

- ▽団体
  - 優勝 新潟大学B
  - 2位 富山大学A
  - 3位 金沢星稜大学A
  - 3位 新潟大学C
- ▽個人
  - 優勝 大野美月 (金沢学院大学)
  - 2位 本間真琴 (新潟大学)
  - 3位 山浦 伸 (新潟大学)
  - 3位 橘川祥子 (信州大学)

第43回少年剣道芦原大会

令和4年12月4日(日) 於 トリムパークかなづ 試合結果は次の通りです。

- ▽団体の部
  - 優勝 福井養正館
  - 準優勝 敦賀市剣道スポーツ少年団



優勝の福井養正館

- ▽5・6年女子個人の部
  - 優勝 橋本晏利 (福井今立道場)
  - 準優勝 山本仁華利 (鯖江志士樹館道場)
  - 3位 宮田小都乃 (木田剣道スポーツ少年団)
  - 3位 野尻あさひ (武道学園剣道教室)
- ▽6年男子個人の部
  - 優勝 熊谷薩馬 (福井養正館)
  - 準優勝 縄間大智 (敦賀市剣道スポーツ少年団)
  - 3位 湧口稜大 (鳥羽スポーツ少年団剣道部)
  - 3位 岩谷賀生 (福井養正館)
- 3位 鯖江志士樹館道場
- 3位 芦原少年剣道教室



3位の芦原少年剣道教室



3位の鯖江志士樹館道場



準優勝の敦賀市剣道スポーツ少年団



5、6年女子個人の部入賞者



6年男子個人の部入賞者

県剣連会議・事業等

令和4年度女性剣道

座談会・剣道体験会

令和4年11月5日(土)  
於 福井県立武道館

県剣道連盟女性部は11月5日(土)、県立武道館で「令和4年度女性剣道座談会・剣道体験会」を、公募の参加者と女性部メンバー合わせて29名が参加して開催しました。

和気あいあいとした雰囲気の中、まず座談会では自己紹介、女性部の活動紹介、フリートークをしました。フリートークでは、剣道歴について、怪我について、長く続けるコツについて、剣道を始め始める時期について、剣道具の費用についてなど話をしました。

体験会では、剣道着の試着、剣道具の装着、竹刀を持つて打ち込みをするなど様々な体験をしました。新しい体験に喜んで、面への打ち



込みを繰り返し挑戦したりする方がいたりなど、充実した時間を過ごすことができたようでした。

「女性剣道座談会・

剣道体験会」を行って

女性部長 松井 香里

11月5日(土) 県立武道館で、県剣道連盟の女性部による「剣道座談会」を開催しました。幼児から50代まで幅広い14名の参加があり、女性部の活動や試合の様子などを映像で紹介し、感想や質問を頂きました。家族の中で自分だけが未経験という方から「いつから始めたのですか?」、「長く続けるコツは?」と聞かれ、「稽古したい時に行く。自分の生活リズムが崩れないペースで」、「うん、うん。それ大事」と共感の声が上がりました。親子参加の方からは「剣道着や剣道具つて値段が高そう、せつかく買っても続けられるのか心配」と親ならではの悩みには、「地区の少年団や教室には習っている子のお下がりの剣道着や剣道具があり、貸してくれるところもありますよ」、「いろんな素材の剣道着があり、洗濯機でも大丈夫。武道具専門店でも気軽に相談に乗ってくれますよ」とアドバイスを送ったりしました。学生時代に剣道をしていた、または他のスポーツをしていた方からは「久しぶりに動いて怪我しませんか?」、「何歳からでも始められますか?」の質問に、「とにかく自分のペース、無理はしない」、「稽古に集まった時

に、今日の目的や目標を話し合い、稽古内容を決めていく」、「年齢や経験年数に応じた稽古ができる」と女子稽古会の魅力をアピールしました。打ち解けたところで全員が剣道着、袴に着替え、3階の多種目競技場に移動。まず会員による1本打ちの技や1分程度の試合を観戦。その後、参加者が剣道具(胴、垂、小手)を着け会員とペアになり、足さばき、竹刀の振り方を練習。最後に着面した会員に「ヤー、メーン!ドー!コー!」と打突、元気な声が響き渡りました。

参加者からは「大きな声を出してスカッとした」、「打った時にパコーン!と音がするのが気持ちいい」、「学生時代の感触を少し思い出した。懐かしい」と感想を頂き、半日という短い時間ではありましたが剣道の魅力が伝わったのではないかと思います。次は稽古会に参加してみようかなと、気楽な感じで思ってもらえると嬉しいです。女子稽古会の予定は県剣道連盟HPにアップしますのでぜひ、覗いてください。皆さんの参加をお待ちしています。

令和 4 年度 第 3 回 理事会

令和 4 年 10 月 12 日(水)

於 福井県立武道館

福井県剣道連盟は令和 4 年度第 3 回理事会を 10 月 12 日(水) 19 時から、福井県立武道館で開催しました。片山会長が所用のため欠席、北野副会長の開会あいさつの後、定款第 47 条に基づき北野副会長を議長に選出し、議事に入りました。

【議題】

無し

【報告事項】

- 1、令和 4 年度前期事業報告並びに後期事業予定について  
堀江常務理事が資料により前期の事業実施状況および後期の事業予定について報告しました。
- 2、令和 4 年度前期(9 月末現在)収支計算書並びに後期収支見込について  
川嶋事務局員が資料により報告しました。
- 3、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者(国体監督資格)について  
西川専務理事および堀江常務理事が、今後、予算をつけて講習費の補助を行い、国体監督資格である公認スポーツ指導者の有資格者を計画的に増やしていくことについて報告しました。
- 4、表彰内規見直しについて

堀江常務理事が、全国大会ベスト 8 を入賞と同等扱いにするなど表彰内規を見直すことについて報告しました。

5、福井県実業団大会中止について  
堀江常務理事が、コロナの影響を鑑み、県実業団大会を中止することについて報告しました。

6、剣道だよりについて  
上嶋理事が、ホームページで大会結果等を広報していることを踏まえ、剣道だよりの継続発行について第 115 号送付時にアンケートを行うことについて報告しました。

7、全剣連臨時理事会について  
西川専務理事が資料により全剣連の女性理事増員等について報告しました。

8、その他  
上嶋理事からホームページのアクセス数、岩本理事から広報部会 ICT 推進チームの進捗状況、柳原理事から栃木国体の戦績について報告がありました。



記：坂本 裕一郎

「はぴりゅうフェスタ」

親子剣道遊び体験

令和4年10月15日(土)  
・16日(日)  
於 サンドーム福井

10月15日  
(土)〜16日  
(日)、サンド  
ーム福井で開催  
された「はぴ  
りゅうフェス  
タ2022」



で、県剣道連盟普及部が「剣道遊び体験ブース」を開設しました。20種類以上のスポーツ体験や、歌・ダンスのステージプログラムが盛りだくさんのスポーツ・文化イベント。剣道ブースでは「剣道エクスサイズ」と「木刀で新聞



切り」のコーナーを設け、1歳から60歳代まで、親子連れを中心に2日間で396名の方に参加頂きました。そのうち未就学児から小学3年生までのお子さんが6割余り。木刀で見事に新聞が切れるとみんな目を輝かせて誇らしげな表情を見せていました。



県剣道公式ホームページについて広報部より「お願い」

当連盟は公式ホームページをリニューアルし、1月より公開しております。福井県剣道界のポータルサイトとして「福井県内の剣道のことなら何でもわかる」を目指し、県剣道連盟会員への各種情報の提供はもとより、県内剣道人口の拡大を目指して、普及部と連携して少年・女性剣士の普及・拡大のための情報提供、さらにはこれからの剣道を始めよう、復活しよう、転勤で福井に来たから剣道したい、などの方に役に立つ情報の提供を目的としています。

つきましては広報部より次の2点について、各地区剣道連盟・各団体のご協力をお願いします。

①公式ホームページのURL、QRコードの記載

ホームページへのアクセス促進のため、各地区剣道連盟・各団体が行う各大会、事業等の「実施要項」、「プログラム」等に、この公式ホームページの「URL」、スマホからのアクセス用「QRコード」の記載をお願いします。

②各地区剣道連盟・各団体の「話題・大会・行事」などのトピックス提供

ホームページの「特集」ページに各地区剣道連盟・各団体の「話題・

大会・行事」などトピックスを取り上げていますので、トピックス情報がありましたら、原稿と画像をご提供いただきたくお願いします。

【ホームページのURL】

<https://fukui-kendo.com/>

【スマホアクセス用QRコード】



※原稿・画像データ送付先

県剣道事務局  
県剣連広報部 上嶋

1月～3月の主な事業予定

- 【1月】
  - 8日(日) 県立武道館 剣道・居合道初稽古
  - 21日(土) 敦賀市 県中学校剣道冬季強化大会
  - 22日(日) 県立武道館 福井県剣道大会(高校)兼冬季高校選手権大会兼全国高校選抜大会予選会
- 【2月】
  - 4日(土)～5日(日) 富山県 北信越高校剣道新人大会
  - 4日(土) 福岡市 全剣連 剣道七段審査会
  - 5日(日) 福岡市 全剣連 剣道六段審査会
  - 11日(土・祝) 県立武道館 第17回福井県ジュニア育成強化剣道大会
  - 12日(日) 県立武道館 県剣連 第4回剣道段位審査会
  - 18日(土) 長野県 全剣連 剣道七段審査会
  - 19日(日) 長野県 全剣連 剣道六段審査会
  - 19日(日) 越前市武道館 居合道合同稽古会
  - 19日(日) 県立武道館 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 県選考会合同稽古会

【3月】

- 3日(金) 県立武道館 県剣連第4回理事会
- 19日(日) 県立武道館 県剣連 評議員会
- 25日(土)～27日(月) 新潟県

北陸高校剣道部

顧問 坂本 拓弥

明治13年の創立から22年後の明治35年、北陸高校(当時福井仏教中学)に撃剣部が誕生しました。創成期の様子は詳らかではありませんが、剣道が中等学校の正科に加えられたのが9年後の明治44年であることから、その活動は盛況であったと推察されます。戦後は、剣道復活の年と同じ昭和27年に剣道部は再興し、津田富夫先生のもと猛稽古を重ね、昭和40年の佐賀インターハイで初出場を遂げました。昭和41年には藤塚定雄先生が顧問を務められ、昭和45年には女子も全国大会に駒を進め、昭和56年からは藤塚定之先生が顧問と

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

- 第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会
- 26日(日) 県立武道館 剣道昇段審査研修会(四段以上)
- 26日(日)～28日(火) 春日井市 第32回全国高校剣道選抜大会

なり、全国でも指折りの出場実績を誇る剣道部となりました。多くの卒業生を輩出し、教員、警察官、刑務官など県内各地区において指導的立場にあるOBが多い伝統ある剣道部です。

現在、北陸高校剣道部は男子19名、女子14名、計33名で活動しています。北陸高校は福井県で一番生徒数が多い高校であり、1学年に4つのコース18の学級があります。4つのコースすべてに剣道部員が在籍し、文武両道に励むとともに、多様性が育まれています。普段の稽古は本校トレーニングセンター剣道場で概ね2時間半程度で、「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」という剣道の理念のもと、毎日厳しい稽古を通して自己の修養に努め、全国大

会上位進出、全国制覇を目標とし日々稽古に取り組んでいます。

稽古では、素振り・足捌き・切り返し・打ち込みなど基礎基本の修得を重点的に行い、「正しく強い剣道」を目指しています。「基礎」とは物事の土台となるもので、「基本」とは物事の軸となるものです。何事も土台や軸がしっかりしていないといものが作れないのと同様に、剣道においても土台と軸を表す基礎基本の修得が疎かになると強い剣道は作れないと考えます。生徒たちは、個人それぞれに長所・剣風があります。それを最大に生かしつつ、中心を割って相手を屈することを意識し日々の稽古に励んでいます。休日は遠征に出かけることが多く、全国各地の強豪校の生徒たちと剣を交え、剣道の向上はもちろん、チーム力の向上に努めています。遠征に出て普段稽古している仲間以外の剣士と剣を交えることで、自身に足りない部分やチームに足りない部分に気づくことができます。そこで得た課題を持ち帰り、一人ひとりが質の高い密度の濃い稽古ができるように工夫して取り組んでいます。また剣道を通して人間形成を図り、社会に求められる人、応援される人に成長できるように、周りのために自分には何ができるかを考えて行動できる人材育成

を心掛けています。挨拶や返事、掃除なども怠らず、精神的な面も日々の稽古の中で鍛えています。

私自身、母校である本校に勤務させて頂き8年目になります。多くの先生方やOB・OGの方々、関係者の方々が築いてくださった歴史と伝統のある剣道部で指導をさせて頂けることに責任と喜びを感じながら、日々指導させて頂いております。これからもたくさんの方々からの声援やサポートに感謝の気持ちをもち、活動し全国各地で活躍する人材を育てていけるように努めていきたく思います。



### 剣道 称号段位合格者

#### 全剣連 剣道六段以上合格者

・ 8月7日(日) 於 福岡市

・ 8月21日(日) 於 上越市

大井 隼 (警察)

上谷 幸男 (坂井地区)

大味 香代子 (坂井地区)

・ 11月13日(日) 於 名古屋市

相模 宏二郎 (福井地区)

#### 剣道七段

・ 8月20日(土) 新潟県上越市

田中 秀幸 (福井地区)

・ 11月12日(土) 名古屋市

中村 好伸 (福井地区)

谷口 典子 (越前地区)

佐藤 秀樹 (敦賀地区)

辻 慎二郎 (越前地区)

酢谷 一司 (福井地区)

#### 全剣連 称号

#### (範士・教士・錬士) 合格者

・ 11月18日(金) 東京都

教士 竹下 昌文 (福井地区)

錬士 浅井 啓孝 (大飯地区)

谷口 竜哉 (敦賀地区)

#### 県剣連 令和4年度 第2回剣道段位審査会

令和4年8月11日(木・祝)

於 敦賀市総合運動公園体育館  
合格者は次の通り

#### 【初段】 39名

- 鈴木 慧太 (成和 中1年)
- 藤原 辰之介 (南越前 中1年)
- 太田 怜 (至民 中1年)
- 杉原 孝明 (武生 中1年)
- 水田 尚希 (朝日 中1年)
- 元井 颯汰 (松陵 中1年)
- 山田 典悠 (南越中 中1年)
- 中荒江 圭市 (中央 中1年)
- 中村 颯太 (小浜 中1年)
- 崎元 煌太 (松陵 中1年)
- 武長 咲孝 (三方 中1年)
- 山森 春人 (中央 中1年)
- 山崎 蒼翼 (勝山南中 中2年)
- 山田 蒼葉 (朝日 中2年)
- 田邊 瑠人 (栗野 中3年)
- 高木 創生 (武生 中3年)
- 松井 彬仁 (森田 中3年)
- 田中 優心 (栗野 中3年)
- 吉田 朝陽 (森田 中3年)
- 竹下 希亮 (病院職員)
- 竹内 希莉奈 (朝日 中1年)
- 芦田 朋葉 (三方 中1年)
- 酒井 眞心 (勝山南中 中1年)
- 島田 樹衣那 (武生 中1年)
- 高橋 愛珠 (菅原 中2年)
- 川端 花和 (栗野 中2年)

#### 【貳段】 19名

- 前川 和奏 (森田 中2年)
- 小川 マリサ (武生 中2年)
- 高嶋 静香 (菅原 中2年)
- 富田 千晶 (森田 中3年)
- 白木 心愛 (鯖江 中3年)
- 山森 祐海 (中央 中3年)
- 前田 ゆずき (菅原 中3年)
- 高橋 美帆 (森田 中3年)
- 窪田 七菜 (鯖江 中3年)
- 吉田 瑞稀 (武生 中3年)
- 竹本 蒼生 (敦賀気比 中3年)
- 毛利 明日香 (森田 中3年)
- 杉岡 智美 (会社員)
- 若林 圭 (中央 中2年)
- 橋詰 碧 (越前 中2年)
- 叶 優人 (至民 中3年)
- 森 三志朗 (中央 中2年)
- 山口 大夢 (武生 中3年)
- 山田 滉生 (藤島 中3年)
- 多田 滉生 (武生 高1年)
- 清水 陽介 (武生 高1年)
- 白崎 涼太 (敦賀気比 高3年)
- 泉 勇輝 (敦賀気比 高3年)
- 村井 栞 (栗野 中2年)
- 藤崎 万葉 (朝日 中2年)
- 田中 十愛 (栗野 中2年)
- 小矢 結貴 (小浜 中3年)
- 平口 なつみ (栗野 中2年)
- 竹元 和葉 (明倫 中3年)
- 加藤 愛由 (中央 中3年)
- 南藤 安音 (栗野 中3年)
- 飛山 梨 (明倫 中3年)



【参段】 8名

- 谷口 美佳 (福井高3年)
- 中川 聖 舵 (福井高2年)
- 矢田部 凌 (敦賀気比高2年)
- 南部 鷹太郎 (福井高3年)
- 吉村 勘 汰 (敦賀気比高3年)
- 山下 陽 生 (福井高3年)
- 福岡 孝 広 (会社員)
- 奥井 伸 吾 (大学職員)
- 北方 結 女 (敦賀気比高2年)

【四段】 1名

- 戸島 昂 紀 (警察官)

【五段】 2名

- 楠田 和 未 (警察官)
- 村井 佑 輔 (会社員)

県剣連

令和4年度 第3回剣道段位審査会

令和4年11月23日(水・祝)

於 福井県立武道館  
合格者は次の通り

【初段】 82名

- 尾崎 直 統 (森田中1年)
- 日高 宗一郎 (三国中1年)
- 笹野 輝 倫 (成和中1年)
- 竹内 優 斗 (丸岡南中1年)
- 平吹 梁 斗 (武生三中1年)
- 岩佐 大 輔 (足羽一中1年)
- 山田 伊 織 (南越前中1年)

- 藤田 恵 徳 (森田中1年)
- 前川 悠 真 (清水中1年)
- 荒川 祥 慶 (大東中1年)
- 山内 琉 斗 (南越前中1年)
- 松井 光 平 (森田中1年)
- 西谷 晋 一 (東陽中1年)
- 林 谷 大 悟 (森田中1年)
- 橋詰 慶 一 (三方中1年)
- 田中 峻 太 (武生一中1年)
- 坂井 飛 仁 (春江中2年)
- 姉崎 有 真 (森田中2年)
- 小寺 弘 訓 (大東中2年)
- 梅田 天 右 (足羽一中2年)
- 濱中 陽 葵 (三国中2年)
- 上道 竣 文 (南越前中2年)
- 清水 清 生 (足羽一中2年)
- 清水 創 太 (朝日中2年)
- 小澤 琉 生 (三国中2年)
- 青木 佑 斗 (大東中2年)
- 河原 怜 音 (南越前中2年)
- 中川 凛 大 (気比中3年)
- 林 和 樹 (鯖江中3年)
- 杉村 輝 明 (警察官)
- 浅野 智 哉 (警察官)
- 山口 晃 央 (警察官)
- 近澤 晃 笙 (警察官)
- 山崎 香 深 (警察官)
- 鬼山 大 和 (警察官)
- 宮本 雅 也 (警察官)
- 八田 直 也 (警察官)
- 山崎 由 陽 (警察官)
- 川田 俊 介 (警察官)
- 三田村 直 樹 (警察官)

- 嵯峨 利 侑 (警察官)
- 青山 和 史 (警察官)
- 中山 友 博 (警察官)
- 竹原 航 成 (警察官)
- 小杉 悠 樹 (警察官)
- 若松 惠 太郎 (警察官)
- 中 嶋 駿 介 (警察官)
- 山川 華 英 (藤島中1年)
- 塚田 穂 乃 (東陽中1年)
- 中原 和 花 (坂井中1年)
- 高 原 彩 希 (中央中1年)
- 守 中 希 花 (明道中1年)
- 白崎 菜 々 美 (進明中1年)
- 村 瀬 結 菜 (明道中1年)
- 和 夢 田 流 雫 (北陸中1年)
- 森川 瑞 紀 (中央中1年)
- 篠崎 桃 歌 (芦原中2年)
- 竹 沢 美 月 (大東中2年)
- 山 岸 美 乃 せ (三国中2年)
- 齋 藤 詩 乃 (足羽一中2年)
- 佐野 寿 々 代 (成和中2年)
- 山本 千 桜 (大東中2年)
- 櫻川 晴 乃 (足羽一中2年)
- 山崎 琴 心 (芦原中2年)
- 宮越 陽 和 (足羽一中2年)
- 松浦 日 奈 (大東中2年)
- 竹内 日 奈 (足羽一中2年)
- 鈴木 海 那 (大東中2年)
- 北川 陽 菜 (朝日中2年)
- 畑 悠 奈 (中央中2年)
- 中川 結 愛 (気比中3年)
- 塚谷 咲 季 (成和中3年)

【貳段】 38名

- 澤 美 咲 (気比中3年)
- 竹内 一 華 (警察官)
- 馬野 シヤイラ (警察官)
- 北村 美 衣 (警察官)
- 石丸 晴 菜 (警察官)
- 平木 暖 乃 (警察官)
- 川畑 志 織 (警察官)
- 近藤 優 衣 (警察官)
- 大橋 恵 美 (警察官)

- 山口 直 次 郎 (松陵中2年)
- 小野 岡 侑 吾 (栗野中2年)
- 青木 煌 世 (中央中2年)
- 常 田 和 太郎 (松陵中2年)
- 河原 優 志 (三方中2年)
- 窪田 圭 佑 (鯖江中2年)
- 刀 裨 龍 斗 (成和中2年)
- 山崎 暁 翔 (松陵中2年)
- 吉田 光 太 朗 (三方中2年)
- 東林 利 晃 (福大附属8年)
- 竹島 緋 夏 汰 (大東中2年)
- 山崎 悠 翔 (松陵中2年)
- 土田 瑛 登 (東陽中2年)
- 岸本 哲 太 (武生一中2年)
- 高橋 唯 翔 (松岡中2年)
- 奥田 心 道 (松陵中2年)
- 北村 持 恩 (南越前中3年)
- 篠崎 竜 輔 (芦原中3年)
- 脇本 竜 翼 (春江中3年)
- 森田 壮 一郎 (金津高校1年)
- 前田 大 翔 (啓新高1年)
- 幸山 千 紘 (坂井高2年)

吉田裕孝 (会社員)	前田純也 (公務員)	佐藤倅太 (公務員)	【五段】 3名	竹本光希 (中京大3年)	白崎正人 (会社員)	梅田隼仁 (国士館大3年)	谷田和奏 (保育教諭)	【四段】 4名	後藤はづき (警察官)	西山実咲 (北陸高1年)	石田将大 (警察官)	早川大翔 (警察官)	【参段】 4名	齊藤万莉 (三国中3年)	川端麻奏 (南越前中3年)	齊藤江里 (三国中3年)	朝倉観月 (武生一中2年)	大辻彩夏 (菅原中2年)	田中葵心 (三国中3年)	福渡心愛 (松岡中2年)	赤星心晴 (朝日中2年)	中村知歌子 (武生一中2年)	赤澤由佳 (清水中2年)	林本由佳 (鯖江中3年)	岸本由佳 (丸岡中2年)	橋本勝央 (丸岡中2年)	田中敏 (会社員)	杉若航平 (教員)	辻本直樹 (警察官)
---------------	---------------	---------------	------------	-----------------	---------------	------------------	----------------	------------	----------------	-----------------	---------------	---------------	------------	-----------------	------------------	-----------------	------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-------------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	--------------	--------------	---------------

# ペンリレー

# 女性剣士の部屋

越前地区剣道連盟 梅原 陽乃

私は、父が剣道をしていたことから小学校3年生の時に剣道を始めました。大会ではいつも負けてばかりで、それが悔しくてスポーツ少年団とは別に越前市の武道館にも通いました。そこでは、普段剣を交えることのできない先生方と稽古をすることができました。

中学生の時には、顧問の和田先生と一緒に全国大会に行くという目標を掲げ、毎日の部活に取り組みました。中学1年生の夏休みには、学校の駅伝にも参加し、部活後には毎日約10キロ走っていました。その当時は駅伝に向けての長距離の練習がきつく、今の自分は何を目指して頑張っているのかわかりませんでした。でも今思えば、それが剣道に必要な持久力にもつながっていたなと感じています。3年生の夏の県大会では、個人戦で優勝することができ、和田先生と全国に行くという目標を達成することができました。

高校生の時には「県内で一番の学校で剣道をした」という思いから敦賀高校に入学しました。そして全国制覇という目標に向かって日々の稽古に取り組みました。コロナ前は毎週土・日に県外遠征に行き、強い選手とたくさん試合をさせてもらいました。なかなか勝つことができず、自分の弱さを改めて感じることもありました。ここから頑張ろうと思った矢先にコロナが流行り、様々な大会が中止になってしまいました。また思うように稽古もできなくなり不安な毎日が続きました。コロナが少し収まり、2年生の3月に1年ぶりに全国選抜大会が開催されました。参加できなかった先輩方の思いも背負い、試合に挑みました。結果はベスト8という、今までで一番良い結果を残すことができました。しかし、私たちの目標は全国制覇。この目標を達成するために、また厳しい稽古が始まりました。最後のインターハイでは団体戦と個人戦に出場することができましたが、目標を達成することができませんでした。悔しい思いも残りましたが、とても充実した毎日を経験することができ、一生忘れられない学校生活になりました。今は大学生になって全日本学生大会で結果を残すことを目標に、稽古に取り組みんでいます。これからも努力することを忘れず頑張ります。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B  
 メールアドレス [fkikendo@herb.ocn.ne.jp](mailto:fkikendo@herb.ocn.ne.jp) TEL・FAX(0776)28-6616